

# TASCAM

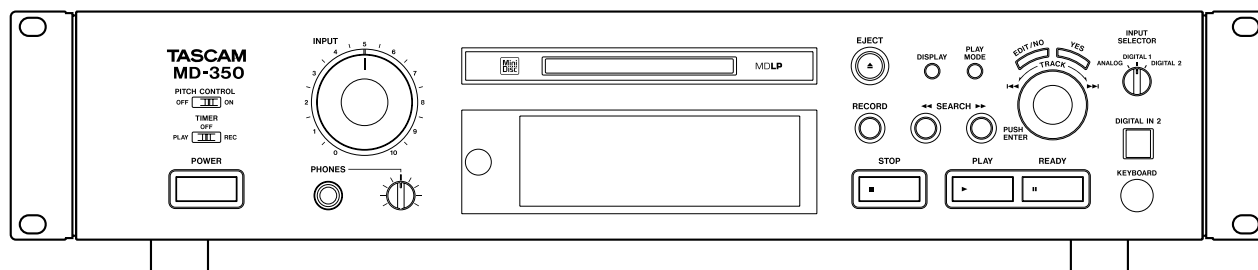
TEAC Professional Division

D00602200A

# MD-350

Minidisc Deck

取扱説明書



# はじめに

このたびは、TASCAM MD-350 デジタル オーディオ ミニディスク デッキをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱い方法をご理解いただいた上で、十分に機能を発揮させ末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 本機の構成

本機の構成は以下の通りです。

なお、本機を開梱する時、損傷を与えないよう慎重に行なってください。梱包箱と梱包材は後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合、当社までご連絡ください。

1. MD-350 デジタルオーディオ  
ミニディスクデッキ ..... 1
2. 付属品
  - ① RC-32 ワイヤレス  
リモートコントロールユニット ..... 1
  - ② 乾電池 (単3、SUM-3) ..... 2
  - ③ ラックマウントビスケット ..... 1
  - ④ テンプレート ..... 1
  - ⑤ 取扱説明書 ..... 1
3. 保証書

## 目次

はじめに	2	選曲する	15
本機の構成	2	テープに録音するときには	16
設置のご注意	3	曲の頭で一時停止する (オートキュー)	16
使用上のご注意	3	好きな曲を聞きたい順に聞く (プログラム再生)	17
MDの扱いかた	3	繰り返して聞く (リピート再生)	18
U-TOC とは	3	順不同で聞く (シャッフル再生)	18
接続	4	タイマー再生をする	19
ステレオアンプとの接続	4	曲のピッチを変える (ピッチコントロール)	19
電源の接続	4	<b>編集</b>	<b>20</b>
リモートコントロール	5	編集するときのご注意	20
使用上のご注意	5	曲を消す (ERASE)	20
乾電池について	5	曲を分割する (DIVIDE 機能)	21
各部の名称	6	曲をつなぐ (COMBINE 機能)	21
録音	8	曲を移動する (MOVE)	22
MDに録音する	8	ディスク名、曲名を付ける (TITLE 機能)	22
録音するときのご注意	9	ディスク名と全曲番の	
再生	11	曲名を続けて付ける (TITLE AUTO INC 機能)	23
MDを再生する	11	選択できる文字種、記号	24
機能 (録音)	12	文字を修正するには	24
入力信号をモニターする	12	タイトルをコピーする (TITLE COPY 機能)	25
録音レベルを合わせる	12	最後に行った編集動作を取消す (UNDO 機能)	25
録音中に曲番を付ける	12	<b>オプション機能</b>	<b>26</b>
録音した曲を消しながら録音する (Over Write)	13	<b>システム上の制約について</b>	<b>27</b>
シンク録音をする (SYNC RECORD)	13	<b>メッセージ表示一覧</b>	<b>28</b>
MDの残り時間を知るには	14	<b>トラブルシューティング</b>	<b>28</b>
録音した曲を確認する	14	<b>仕様</b>	<b>29</b>
タイマー録音をする	14	<b>コピーするときのルール</b>	<b>30</b>
機能 (再生)	15	<b>保証とアフターサービス</b>	<b>31</b>
表示窓の使いかた	15		

## 設置のご注意

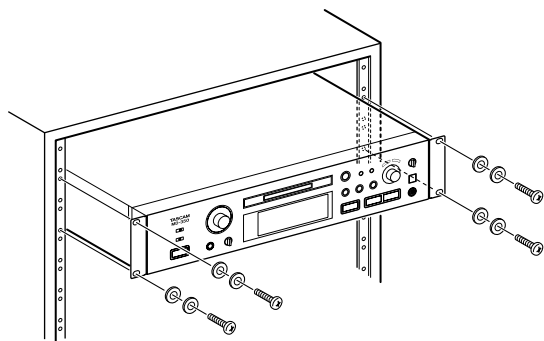
### 設置場所について

次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。

- 振動の多い場所や不安定な場所。
- 窓際など直射日光が当たる場所。
- 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所。
- 極端に温度が低い場所。
- 湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
- チューナー、テレビやビデオデッキなどのそば。  
雑音の原因や映像の乱れが生じることがあります。

### ラックマウント方法

図のように、付属のマウントビスキットで取り付けてください。



## 使用上のご注意

### 電源について

AC100V(50—60Hz)以外の電源には接続しないでください。電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

### 本体のお手入れ

化学ぞうきんやベンジン、シンナー系の液体で本機を拭かないでください。表面を傷める原因となります。トップカバーやパネルの汚れは、薄めた中性洗剤液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

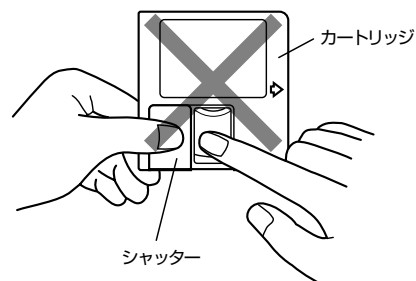
### 結露現象について

冬期など、本機を暖房中の室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、本機内部に水滴(結露)がつき、正常に動作できないばかりでなく、MDや精密部品も傷めてしまうことがあります。結露が生じたときは、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。水滴がなくなり、正常に動作するようになります。本機を移動するときや使用しないときは、MDを取り出しておいてください。

## MD(ミニディスク)の扱いかた

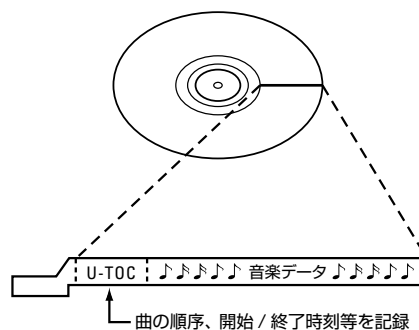
MDはカートリッジに収納されています。カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になることがあります。いつでもいい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

- MDを使用した後は、必ず取り出してMDケースに入れて保管してください。
- シャッターを開け、中のディスクにさわらないでください。また、無理にシャッターを開けると壊れることがあります。
- 直射日光が当たる所や温度が高くなる所、また湿気の多い所に置かないでください。
- MDカートリッジ表面のほこりは、乾いた布で拭き取ってください。
- MDカートリッジにラベルを貼るときは、指定の位置に正しく貼ってください。ラベルがめくれれたり、浮いているとMDが内部につまって取り出せない原因となることがあります。
- ラベルを重ねて貼らないでください。



## U-TOCとは

録音用MDは、録音した曲を簡単に編集できます。録音した曲の情報(開始アドレス、終了アドレス、タイトル他)をU-TOC(User Table of Contents)というところに記録しており、ここを書き換えるだけで自由に編集することができます。



## ステレオアンプとの接続

接続する前に、アンプの取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。電源は最後に接続してください。

### ANALOG INPUT/OUTPUT 端子

ステレオアンプと本機の ANALOG INPUT / ANALOG OUTPUT 端子をピンプラグコード (別売) で接続します。

- ピンプラグコードの白プラグを白端子 (L) に接続、赤プラグを赤端子 (R) に接続します。
- プラグをしっかりと差し込んでください。また、ピンプラグコードは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因となります。

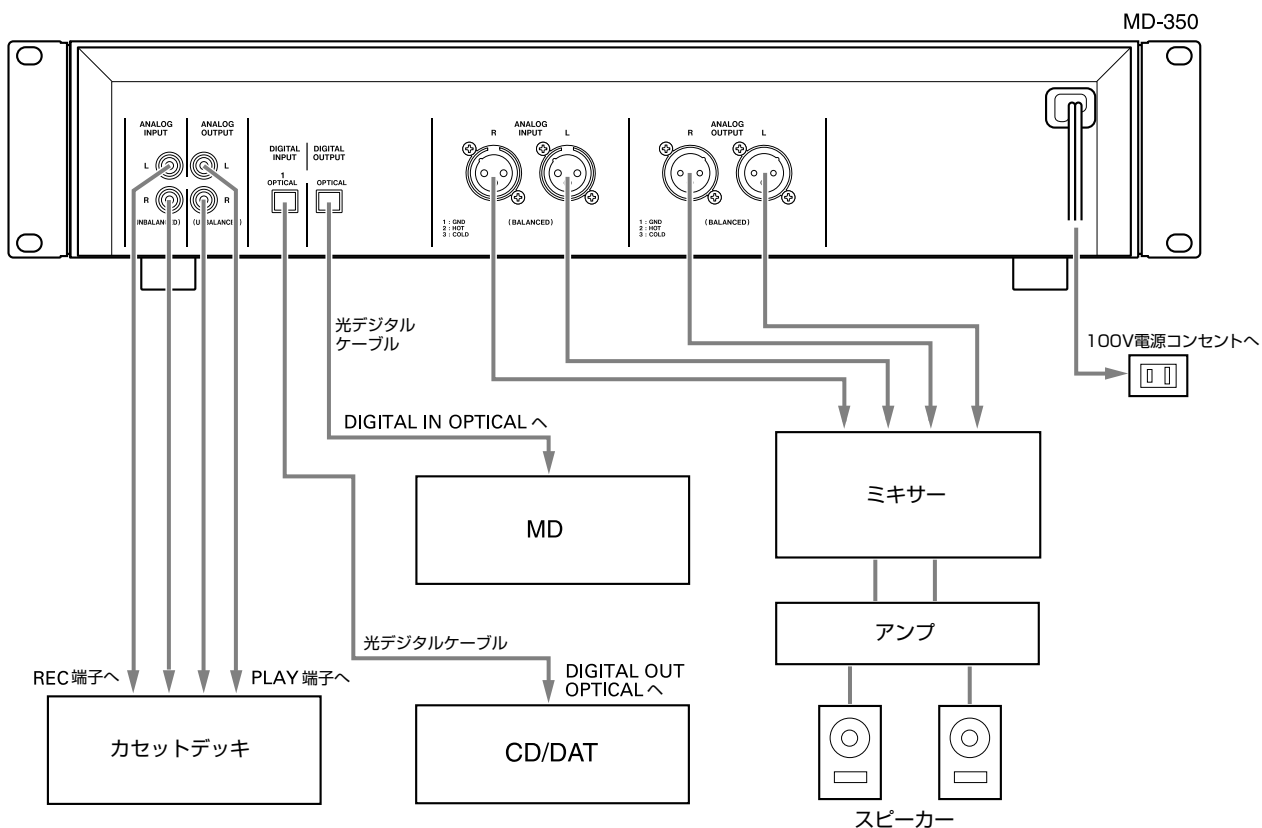
### DIGITAL INPUT/OUTPUT 端子

光デジタルケーブル (別売) で、デジタル入力端子付きのアンプに接続します。また CD や MD、DAT などのデジタル機器に接続すると、デジタル録音ができます。

- 前面の [DIGITAL IN 2] 端子に光デジタルケーブルで MD、DAT などを接続することもできます。
- デジタル接続するときは、端子のキャップを外してください。接続しないときは、キャップをはめておいてください。

## 電源の接続

この機器は日本国内専用です。電源プラグを AC (交流) 100V の電源コンセントに差し込んでください。

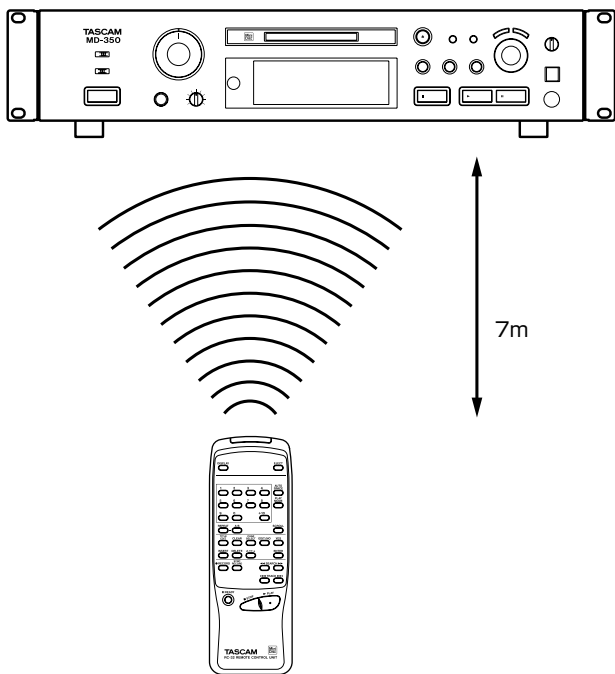


# リモートコントロール

## 使用上のご注意

- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池の液もれを防ぐために、乾電池をケースから取り出しておいてください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内に付着した液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。
- 赤外線によりコントロールする他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、他の機器を誤動作させることがあります。
- 操作範囲が狭くなったり、操作しても動作しなくなったときは、乾電池が消耗しています。2本とも、新しい乾電池に交換してください。

本機の受光部に向けて操作してください。  
障害物があると、操作できません。



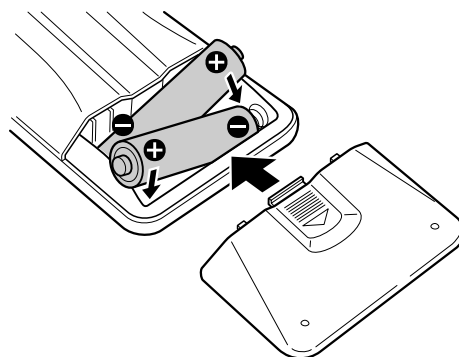
## 乾電池について

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。乾電池の注意表示をよく読んで、正しくご使用ください。

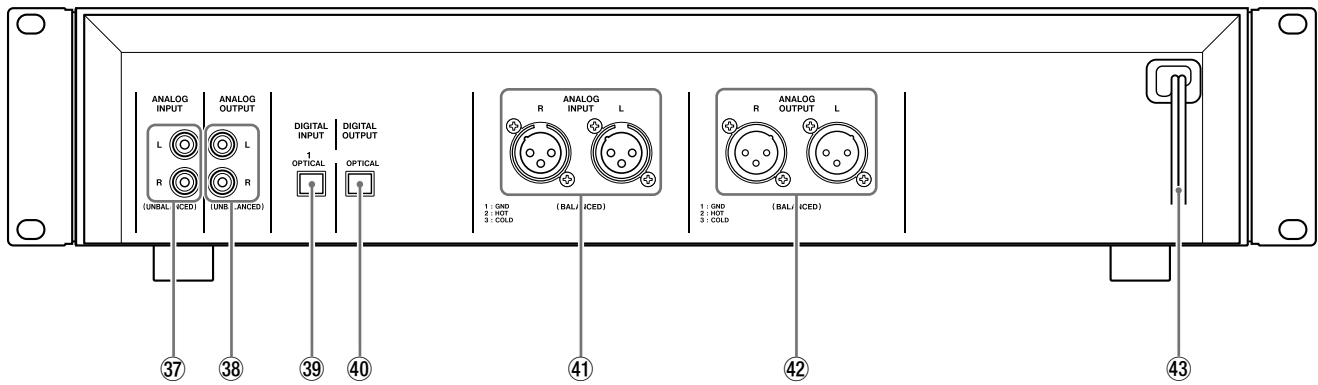
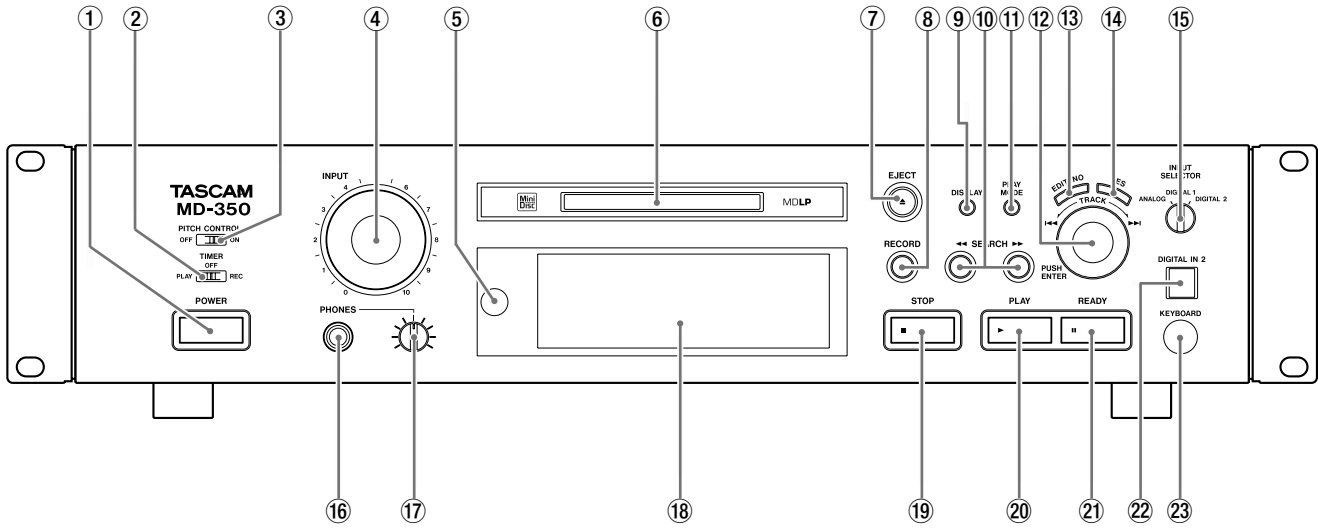
1. 乾電池の+と-の表示をよく確認して、電池ケースの指示通りに、正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池には形状が同じでも、電圧が異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. 乾電池は絶対に充電しないでください。
5. 乾電池を分解したり、火の中に投げ込んだり、水につけたりしないでください。

## 乾電池の入れかた

1. 裏ぶたを開ける。
2. +と-を確認して、単3乾電池を2本入れます。
3. ふたを閉める。

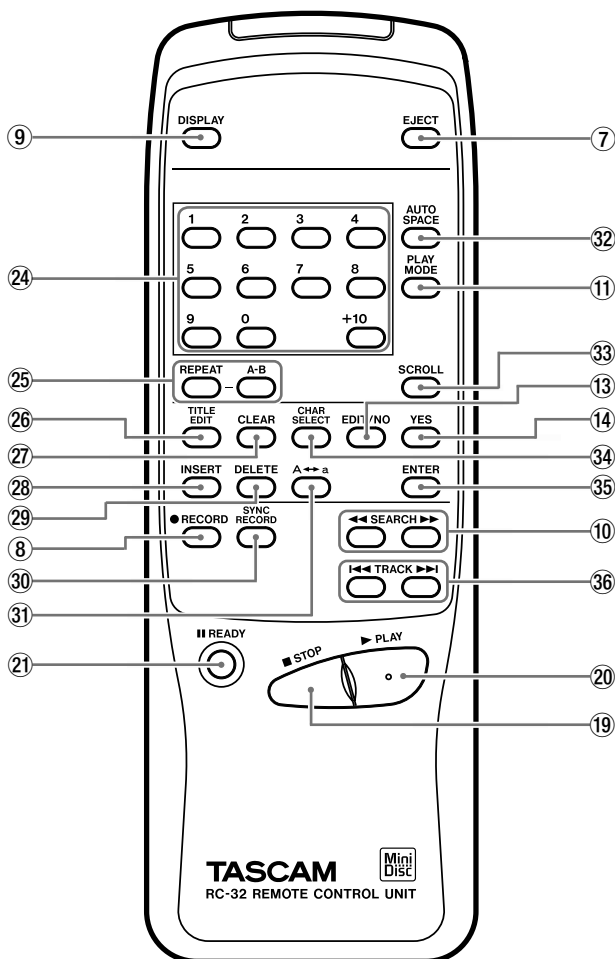


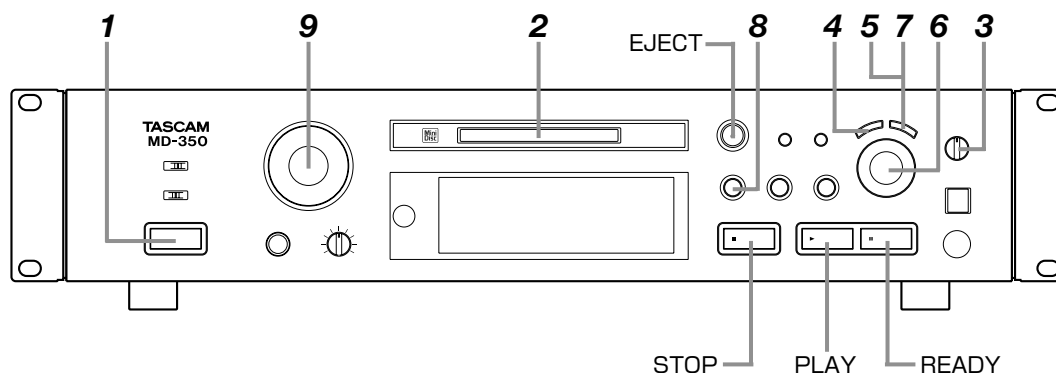
# 各部の名称



- ① 電源スイッチ (POWER)
- ② タイマースイッチ (TIMER)
- ③ PITCH CONTROL オン/オフスイッチ (PITCH CONTROL)
- ④ 録音レベルつまみ (INPUT)
- ⑤ リモコン受光部
- ⑥ ディスク挿入口
- ⑦ イジェクトボタン (EJECT)
- ⑧ 録音ボタン (RECORD)
- ⑨ ディスプレイボタン (DISPLAY)
- ⑩ サーチボタン (SEARCH)
- ⑪ プレイモードボタン (PLAY MODE)
- ⑫ トラックダイヤル&エンターボタン (TRACK) & (PUSH ENTER)

- ⑬ エディット / ノーボタン (EDIT / NO)
- ⑭ イエスボタン (YES)
- ⑮ インプットセクター (INPUT SELECTOR)
- ⑯ ヘッドホン接続ジャック (PHONES)
- ⑰ ヘッドホンレベルつまみ
- ⑱ 表示窓
- ⑲ ストップボタン (STOP)
- ⑳ プレイボタン (PLAY)
- ㉑ レディーボタン (READY)
- ㉒ デジタル入力端子 2 (DIGITAL IN 2)
- ㉓ キーボード (PS / 2) 用接続端子 (KEYBOARD)
- ㉔ 数字ボタン (1 ~ 9, 0, + 10)
- ㉕ リピート A - B ボタン (REPEAT / A - B)
- ㉖ タイトルエディットボタン (TITLE EDIT)
- ㉗ クリアーボタン (CLEAR)
- ㉘ インサートボタン (INSERT)
- ㉙ デリートボタン (DELETE)
- ㉚ シンク録音ボタン (SYNC RECORD)
- ㉛ 大文字 / 小文字ボタン (A ↔ a)
- ㉜ オートスペースボタン (AUTO SPACE)
- ㉝ スクロールボタン (SCROLL)
- ㉞ 文字種選択ボタン (CHAR SELECT)
- ㉟ エンターボタン (ENTER)
- ㊱ トラックボタン (TRACK)
- ㊲ アナログ入力端子 (ANALOG INPUT) (UNBALANCED)
- ㊳ アナログ出力端子 (ANALOG OUTPUT) (UNBALANCED)
- ㊴ デジタル入力端子 (DIGITAL INPUT) (OPTICAL)
- ㊵ デジタル出力端子 (DIGITAL OUTPUT) (OPTICAL)
- ㊶ アナログ入力端子 (ANALOG INPUT) (BALANCED)
- ㊷ アナログ出力端子 (ANALOG OUTPUT) (BALANCED)
- ㊸ 電源コード





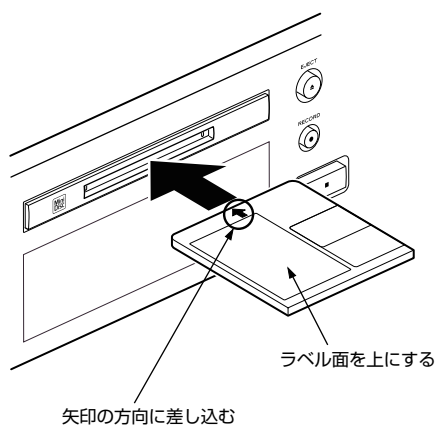
## MDに録音する

### 1. [POWER] ボタンを押して電源を入れる

- 電源が入ると、“NO DISC” を表示します。
- 録音したいソース（音源）の機器とアンプの電源を入れ、アンプのソースセレクターを合わせます。

### 2. 録音用のMDを入れる

- MDはラベル面を上、矢印の方向に差し込む。
- “Disc Loading”、“TOC Reading” を表示します。



### 3. [INPUT SELECTOR] で入力を選ぶ

- “ANALOG” または “DIGITAL 1” か “DIGITAL 2” を選択します。

表示	選ばれる入力端子
ANALOG	ANALOG INPUT
DIGITAL 1	DIGITAL INPUT 1 (OPTICAL)
DIGITAL 2	DIGITAL IN 2 (OPTICAL) 前面

### 4. 停止時に [EDIT/NO] ボタンを押して、“REC MODE ?” を表示させる

### 5. [YES] ボタンを押す

- “RecMode > XXX” を表示します。

### 6. [◀ TRACK ▶] ダイヤルで録音モードを選ぶ

- SP: ステレオ標準録音モード
- MON: モノラル録音モード
- LP2: ステレオ2倍録音モード
- LP4: ステレオ4倍録音モード

- “MON” を選ぶと、左（L）チャンネルだけのモノラル録音になります。レベルメーターはLのみ表示しますが、L/Rとも出力します。
- モノラルモードの録音時間は、ステレオ標準録音の2倍になります。
- ステレオLP2、LP4モードの録音時間は、ステレオ標準録音のそれぞれ2倍、4倍になります。
- MDの録音残り時間表示は、現在の録音モード設定により変わります。
- ひとつのディスクに、異なるモード（モノラル、ステレオLP2、LP4）の録音を混在させることもできます。
- LP4モード（4倍長時間録音）は特殊な圧縮方式によって長時間ステレオ録音を実現しています。そのため、録音されるソースによってはごくまれに瞬間的なノイズが発生する恐れがあります。音質を重視される場合はSP（ステレオ録音）またはLP2モード（2倍長時間録音）を推奨いたします。

### 7. [YES] ボタンを押す



## 8. [RECORD] ボタンを押す

- 録音待機状態になります。 (“|| REC” 点灯)
- 録音できないMDの場合は、“Protected !!” または “Disc Full !!”、“Track Full !!” を表示します。
- 途中まで録音済みのMDを入れると、録音済み部分の終わりを検出して待機します。

## 9. 録音入力レベルを合わせる

- ANALOG で録音するときは、[INPUT] つまみを回し、録音入力レベルを調節します。この場合、レベルメーターが “OVER” まで振れないように調節します。
- デジタルで録音するときは、デジタルボリュームを使うことができます。 (「録音レベルをあわせる」 12 ページを参照)

## 10. 録音ソースの演奏を始め、[▶] PLAY ボタンまたは [||] READY ボタンを押す

- 録音が始まります。 (“▶ REC” 点灯)
- 停止は、[■] STOP ボタンを押します。
- 一時停止は、[||] READY ボタンを押します。
- 再度、録音するには [▶] ボタンまたは [||] ボタンを押します。録音一時停止で曲番が変わります。
- MD を取り出すには、停止状態で EJECT ボタンを押します。

### ご注意

録音後、MD を入れたまま (“TOC EDIT” 点灯) 電源を切ると、UTOC が記録されません。3～4 日中に電源を入れ、MD を取り出してください。時間が経つと録音データが消滅する恐れがあります。

### 録音モードの表示

録音モードは、以下の表示選択時に、ディスプレイの最後の 3 桁を使って “SP”, “MON”, “LP2”, “LP4” のように表示されます。

#### 停止中：

REMAIN (録音の残り時間) 表示を選択時に、録音モードが表示されます。

#### 録音／録音一時停止中：

表示選択に関わらず、録音モードが表示されます。

#### 再生／再生一時停止中：

REMAIN (再生曲の残り時間) 表示を選択時に、録音モードが表示されます。

なお、このとき表示される録音モードは、セットした MD を録音したときのモードです。

現在設定してある録音モードではありません。

## 録音するときのご注意

### ■ バックアップ機能について

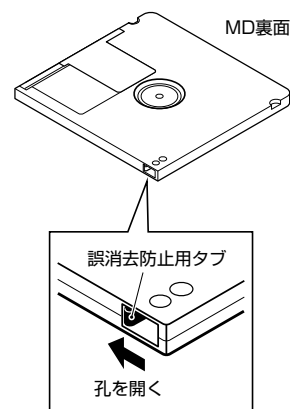
本機はバックアップ機能を備えています。本機をご購入後、初めてお使いになる際は、電源を入れて 5 分程度おいてください。バックアップ回路が充電されバックアップ機能が働くようになります。また、しばらくお使いにならないときも、3～4 日に 1 度は電源を入れてください。

### ■ “Protected !!” を表示したときは

- MD が録音不可状態になっています。または再生専用の MD が入っています。
- 誤消去防止用タブをずらして孔を閉じると、録音ができるようになります。

### ■ 録音内容を誤って消さないために

- MD は録音後、誤消去防止用のタブをずらし、孔を開いた状態にすると、録音できなくなります。



### ■ “Disc Full !!” または “Track Full !!” を表示したときは

録音時に “Disc Full !!” または “Track Full !!” を表示したときは、MD に空きがない、または曲番がいっぱいのときで録音できません。不要な曲を消すか、または別の MD に録音してください。

### ■ シリアルコピーマネージメントシステム

本機はシリアルコピーマネージメントシステムに準拠していません。デジタル録音した MD をさらにデジタル録音することはできません。

### ■“D – IN UNLOCK !” が点滅したときは

〔DIGITAL 1 または 2〕端子に光デジタルケーブルで接続していないときに、〔INPUT SELECTOR〕を“DIGITAL 1”または“DIGITAL 2”に合わせたためのエラー表示です。〔INPUT SELECTOR〕を“ANALOG”に合わせてください。デジタル接続で録音中に、デジタル信号の入力が中断したときも点灯します。録音を続けるときは、接続を確認して再度録音してください。

### ■録音するソース（音源）によって曲番の付きかたが異なります

- CD または MD を再生して、〔INPUT SELECTOR〕を“DIGITAL 1/2”に合わせ、デジタル録音するとき曲番は、ソースのCDやMDと同じように付きます。

ただし、次のように録音した部分については、曲番が1つか付かないことがあります。

- ☞ 1 曲リピートのように、同じディスクの同じ曲を繰り返して録音した部分。
- ☞ 違うディスクの同じ曲番を続けて録音した部分やソースがMDのとき、3 秒以下の曲には曲番が付かないことがあります。

- オートトラック機能が OFF のとき、“ANALOG”で録音、または CD、MD 以外のデジタル機器から“DIGITAL 1/2”に合わせて録音する場合、曲番は全体で 1 曲として扱われるため、1 つしか付かないことがあります。

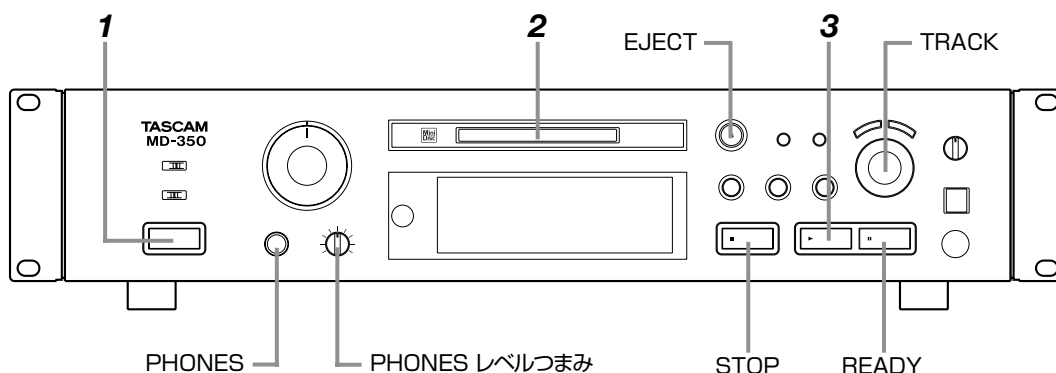
☞ 録音中に〔RECORD〕ボタンを押すと、手動で曲番を付けられます。

☞ オートトラック機能を“A\_TRACK > ON”に合わせて録音してください。自動で曲番をつけることができます。

### ■“UTOC Writing” が点滅中は

録音終了後にイジェクトしたとき、“UTOC Writing”が点滅します。点滅中は、録音した内容をMDに記録中です。本機の電源を切ったり、揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できないことがあります。

録音/編集後にMDを入れたまま(“TOC EDIT”点灯)で電源を切ると UTOC が記録されません。3 ~ 4 日中に電源を入れ、MDを取り出してください。時間が経つと録音データが消滅する恐れがあります。



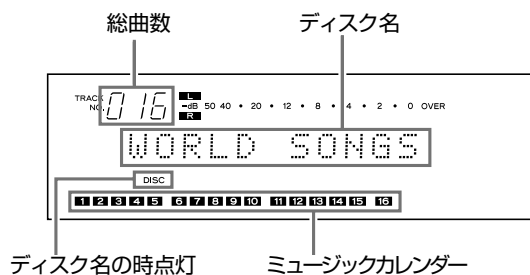
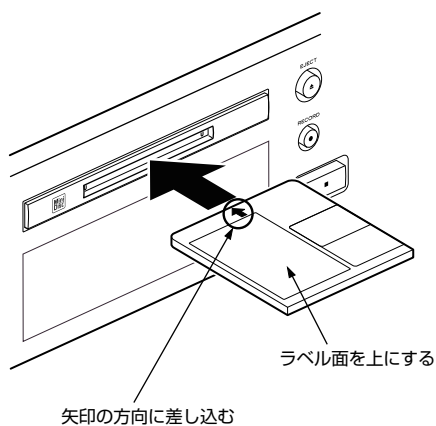
## MD を再生する

### 1. [POWER] ボタンを押して電源を入れる

- 電源が入ると、“NO DISC” を表示します。
- アンプの電源を入れ、入力切り換えをMDにします。

### 2. MDを入れる

- MDはラベル面を上、矢印の方向に差し込む。  
“Disc Loading”、“TOC Reading”、ディスク名を表示（ディスク名が付いている場合）後、総曲数と総再生時間を表示します。



- リモコンの [SCROLL] ボタンを押すと、ディスク名または曲名をスクロール表示した後、元の表示に戻ります。

### 3. [▶] PLAY ボタンを押す

- “▶” が点灯し、1 曲目から再生します。  
“TRACK NO.” に 001 を表示します。
- 再生が終ると曲番がミュージックカレンダーから消えます。
- 異なるモード (SP / MON / LP2 / LP4) で録音したトラックが混在していても、問題なく再生できます。
- 21 曲目から “OVER” が点灯します。  
再生中の曲番は TRACK NO. で確認します。

■停止は、[■] STOP ボタンを押す

■一時停止は、[⏸] READY ボタンを押す

- “⏸” が点灯し、一時停止します。再度、再生するには [▶] ボタンまたは [⏸] ボタンを押します。

■MDを取り出すには、EJECT ボタンを押す

■次の曲または前の曲を聞きたいときは

- [◀◀ TRACK ▶▶] ダイアルを回します。
- リモコン操作では [◀◀ TRACK ▶▶] または数字ボタンを押します。選ばれた曲番が再生します。

■ヘッドホンで聞くときは

- [PHONES] ジャックにヘッドホンのプラグを差し込み、ヘッドホン・レベルつまみで音量を調節します。

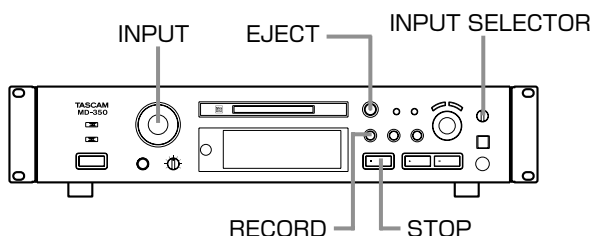
#### ご注意

⚠ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

# 機能 (録音)

## 入力信号をモニターする (Monitor)

録音する前に、各入力端子に接続している機器からの入力信号をモニターすることができます。



1. (EJECT) ボタンを押し、ディスクを排出する
2. (INPUT SELECTOR) で入力を選ぶ
3. (RECORD) ボタンを押す (“Monitor Mode” 表示)

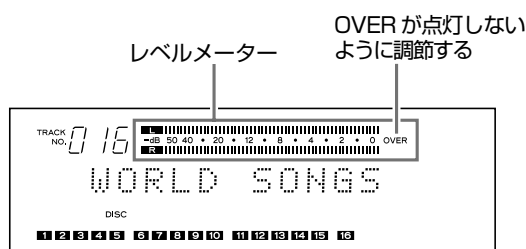
- 録音モードをモノラルにしても、ステレオで出力します。
- ディスクを入れる、または (■) STOP ボタンを押すと、モニターは解除されます。

## 録音レベルをあわせる

アナログ信号を録音する場合：

1. (RECORD) ボタンを押す (“REC” 点灯)
2. 録音レベルを調節する

録音ソース (音源) で一番大きい音の部分演奏しながら (INPUT) つまみを回し、ピークレベルメーターが “OVER” まで振れないように調節します。時々点灯する程度は実用上、問題ありません。

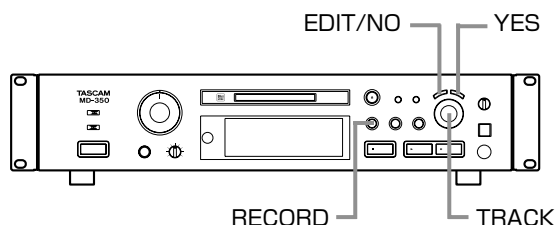


デジタル信号を録音する場合：

1. (RECORD) ボタンを押す (“REC” 点灯)
2. (EDIT/NO) ボタンを押して、“D-LEV 0.0dB” を表示させる
3. (TRACK) ダイアルで適当な値を選ぶ  
選択できるレベルの範囲は± 6.0 dB (0.5 dB 単位) です。
4. (YES) ボタンを押す

## 録音中に曲番を付ける

曲番を付けておくと、編集や再生時の頭出しに便利です。オートトラック機能を ON にすると、録音中に自動で曲番を付けることができます。



### ■自動で曲番を付ける (オートトラック機能)

1. 録音中または録音待機中に (EDIT/NO) ボタンを押して、“A\_TRACK > XXX” を表示させる
2. (TRACK) ダイアルで “A\_TRACK > ON” に合わせる
3. (YES) ボタンを押す

- オートトラック機能が “ON” のときは、入力信号が 4 秒以上続けて、一定のレベル以下になった場合、自動的に曲番を更新します。また、CD や MD からデジタル接続で録音しているときは、CD または MD のデータに応じて、自動的に曲番を更新します。
- オートトラック機能のオン/オフは電源を切っても保持されます。

### ■手動で曲番を付ける

録音中に、曲番を付けたいところで (RECORD) ボタンを押します。押す度に、曲番が更新されます。

### ■録音後に曲番を付ける

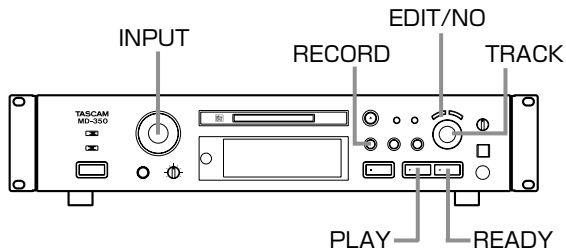
編集操作で「曲を分割」すると、曲番が 1 番ずつ追加されます。 (「曲を分割する」 21 ページを参照)

### ■注意

録音中に (INPUT SELECTOR) を切り替えると、録音待機状態になります。

## 録音した曲を消しながら録音する （Over Write）

録音済みの不要な曲を消しながら、その上に録音できます。



### ■曲の頭から消しながら録音する

1. 「MDに録音する」（8 ページ）の手順 1～7 を行う
2. 消しながら録音する曲の曲番を [◀◀ TRACK ▶▶] ダイアルで選ぶ
3. [RECORD] ボタンを押す
  - 録音待機状態になります。（「REC」点灯）  
“Over Write” 表示後、“録音残り時間” を表示します。選択した曲番以後のミュージックカレンダーが点滅します。
4. 録音入力レベルを合わせる
  - ANALOG 接続で録音するときには [INPUT] つまみを使って、DIGITAL 接続で録音するときには [EDIT/NO] ボタンと [◀◀ TRACK ▶▶] ダイアルを使って、録音入力レベルを調節します。
5. [▶] PLAY または [RE] READY ボタンを押す
  - 曲を消しながら録音します。

### ■曲の途中から消しながら録音する

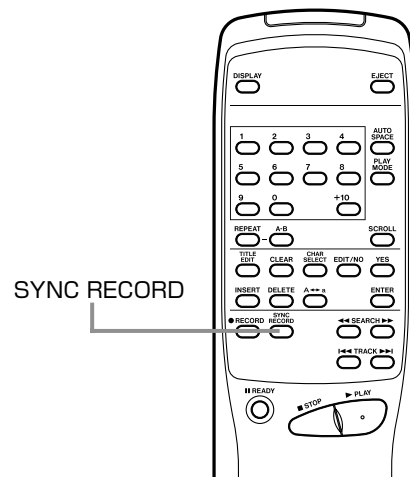
1. 消しながら録音したい曲番を選び [▶] ボタンを押して再生する
2. 消したいところで [RE] ボタンを押す
3. [RECORD] ボタンを押す
  - 曲番が更新されます。カレンダーが点滅します。
4. [▶] PLAY または [RE] READY ボタンを押す
  - 曲を消しながら録音します。

#### ご注意

表示窓に “SHUFFLE” または “PROGRAM” が点灯しているときは、曲の途中から録音できません。

## シンク録音をする（SYNC RECORD）

ある一定のレベルを超えたときに録音を自動的に開始し、4 秒以上続いて一定のレベル以下になると、録音待機状態になります。



1. 「MDに録音する」の手順 1～7 を行う
2. リモコンの [SYNC RECORD] ボタンを押す

- シンク録音待機状態になります。  
（「REC」と「SYNC」点灯）“S\_SYNC ON” を表示後、“録音残り時間” を表示します。
3. ソース（音源）側の演奏を始める
    - 入力信号を検出して自動的に録音を開始します。入力信号が一定のレベル以下になると、録音待機状態になります。
    - シンク録音待機中に [▶] PLAY ボタン、または [RE] READY ボタンを押して、手動で録音を始めることはできません。
    - もう一度 [SYNC RECORD] ボタンを押すと、シンク録音は解除されます。“S\_SYNC OFF” を表示後、時間表示に戻ります。

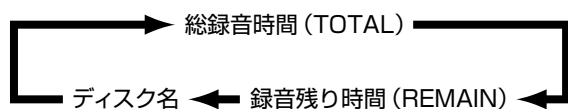
#### ご注意

- シンク録音中に [RE] READY ボタンを押すと、シンク録音は解除されます。
- シンク録音中に [INPUT SELECTOR] を切り替えると、シンク録音は解除されます。

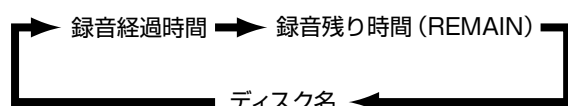
### MDの残り時間を知るには

〔DISPLAY〕 ボタンを押すたびに、表示が変わります。

**停止中** (録音用MDが入っているとき) :



**録音中** :



- モノラルモードの録音時間は、ステレオ標準録音の2倍になります。
- ステレオ LP2, LP4 モードの録音時間は、ステレオ標準録音のそれぞれ2倍、4倍になります。
- MDの録音残り時間表示は、現在の録音モード設定により変わります。
- 録音一時停止中は、録音残り時間 (REMAIN) のみ表示されます。
- ディスク名は、ディスク名が記録されているときだけ表示されます。

### 録音した曲を確認する

録音を止めた後、すぐに〔▶〕PLAY ボタンを押します。  
曲番を指定することなく、今録音した曲の最初から再生されます。

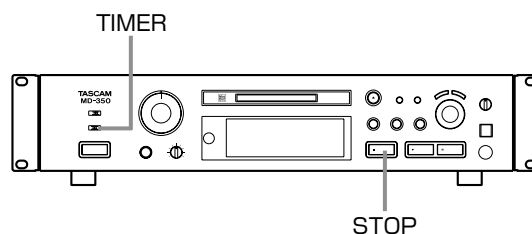
#### ■ 録音を止めた後、MDの最初から聞く

録音を止めた後、もう1回〔■〕STOP ボタンを押してから、〔▶〕PLAY ボタンを押します。

- 録音を止めた後、すぐに (10秒以内) 〔▶〕ボタンを押すと、今録音した曲の最初から再生します。
- 録音を止めて10秒以上経過した場合、または1回〔■〕ボタンを押してから〔▶〕ボタンを押すと、1曲目から再生します。

### タイマー録音をする

市販のタイマーに接続すると、希望の時刻に録音することができます。



1. 「MDに録音する」の手順1～9を行う
2. 〔STOP〕 ボタンを押す
3. 〔TIMER〕 スイッチを〔REC〕にする
4. タイマーが希望の時刻に ON/OFF するように合わせる

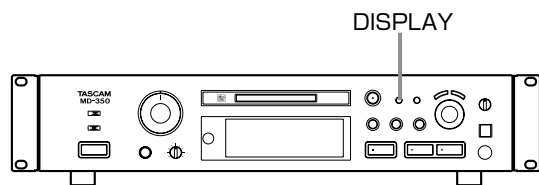
- 各機器の電源が OFF になります。
- 希望の時刻になると、各機器の電源が ON になり録音を始めます。
- タイマー録音は、録音済み部分の終わりから、続けて録音します。

#### ご注意

- 録音開始は、“TOC Reading”を行った後に始まりますので、録音を始めたい時刻より少し前に、タイマー ON 時刻をセットしてください。
- タイマー録音をした後は3～4日中に、必ず本機の電源を入れてMDを取り出してください。MDを取り出したとき、録音された内容がMDに記録されます。電源を入れないまま時間が経つと、録音内容が記録できなくなり、消えてしまうことがあります。
- “SHUFFLE” モードまたは “PROGRAM” モードでタイマー録音をすると、自動的に “CONTINUE” モードになります。
- タイマー録音後は、〔TIMER〕 スイッチを〔OFF〕にしてください。そのまま〔REC〕にしておくと、次に電源が入ったとき、自動的に録音に入ります。

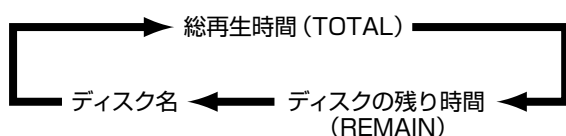
## 表示窓の使いかた

表示窓でディスク名、曲名、総曲数、総再生時間、再生経過時間、残り時間などを調べることができます。

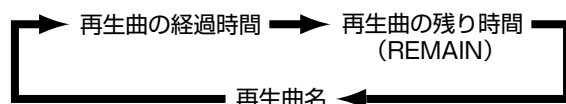


〔DISPLAY〕 ボタンを押すたびに、表示が変わります。

### 停止中：

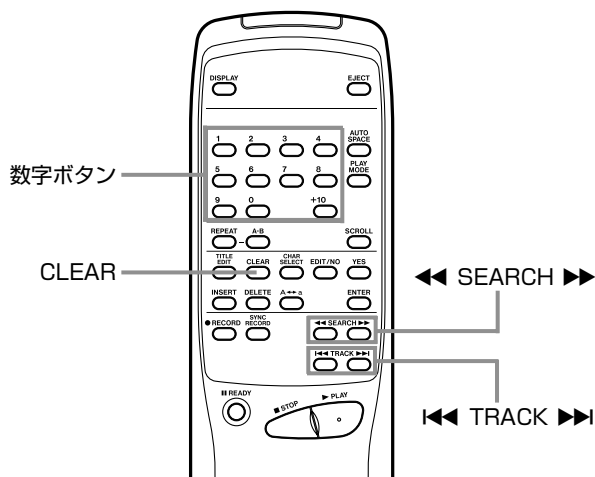


### 再生中：



- 総曲数は“TRACK No.”に表示されます。
- ディスク名および曲名は、ディスク名または曲名が記録されているときだけ表示されます。
- 停止中に選曲すると、曲名表示になります。  
〔DISPLAY〕 ボタンを押しても時間表示はしません。
- 曲名が 100 文字以上のときは、100 文字目以上は表示しません。
- リモコンの〔SCROLL〕 ボタンを押すと、ディスク名または曲名をスクロール表示した後、元の表示に戻ります。

## 選曲する



### ■ダイレクト選曲して再生する

リモコンの数字ボタン (1 ~ 9、0、+ 10) を押します。  
指定の曲の再生が始まります。

### 曲番 10 以上をダイレクト選曲する場合の操作：

曲番 10 を選曲：  $\llbracket \llbracket + 10 \rrbracket \rrbracket$  を押して、  $\llbracket \llbracket 0 \rrbracket \rrbracket$  を押す。  
曲番 25 を選曲：  $\llbracket \llbracket + 10 \rrbracket \rrbracket$  を 2 回押して、  $\llbracket \llbracket 5 \rrbracket \rrbracket$  を押す。

- “TRACK No.” が点滅中に〔CLEAR〕 ボタンを押すと、キャンセルできます。

### ■前の曲または次の曲にスキップする

再生中、〔I<<< TRACK >>>I〕ダイヤルを I<<< に回すと前の曲へスキップし、>>>I に回すと次の曲にスキップします。

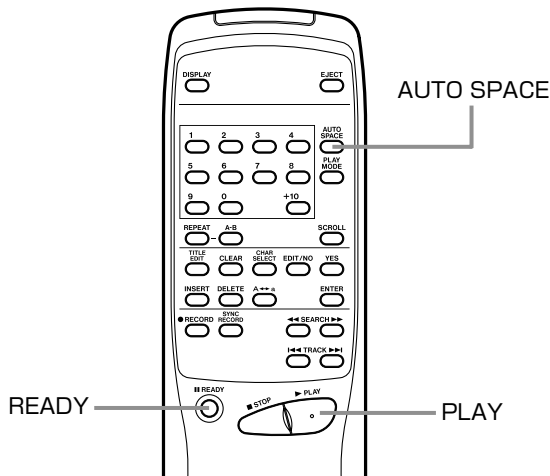
- リモコンでは、〔I<<< TRACK >>>I〕 ボタンを押します。

### ■聞きたい部分をサーチして探す

再生中、〔<<</>>>〕 ボタンを押し続けます。

- リモコンでは、〔<<< SEARCH >>>〕 ボタンを押し続けます。
- 再生一時停止中のサーチでは、表示窓の再生経過時間または再生残量時間を見て探します。
- 数秒の曲が続いているときは、正常にサーチできないことがあります。

## テープに録音するときには



### ■ 曲間にスペースを入れて再生する (オートスペース再生)

曲と曲の間にスペース(3秒)を入れて再生します。  
テープに録音した後、頭出しに便利です。

1. リモコンの〔AUTO SPACE〕ボタンを押して  
“A\_SPACE ON”を表示させる(“A・SPACE”点灯)

2. 〔▶〕PLAYボタンを押す

- オートスペースを解除するには、“A・SPACE”が消えるまで〔AUTO SPACE〕ボタンを押します。

### ■ 1曲再生するごとに一時停止する (オートレディー再生)

1曲ごとに再生が終わると、再生一時停止します。  
1曲だけコピーするとき、またはコピーしたい曲が連続でないときに便利です。

1. リモコンの〔AUTO SPACE〕ボタンを2回押して  
“A\_READY ON”を表示させる(“A・READY”点灯)

2. 〔▶〕PLAYボタンを押す

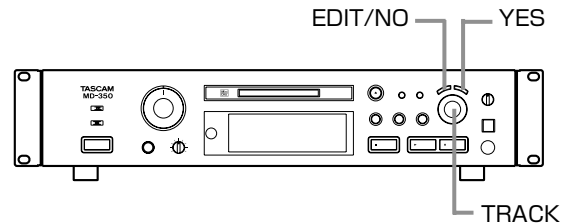
- 曲の再生が終わると、次の曲の頭で一時停止します。

3. 〔▶〕PLAYまたは〔⏸〕PAUSEボタンを押す

- 次の曲を再生します。
- オートレディーを解除するには、“A・READY”が消えるまで〔AUTO SPACE〕ボタンを押します。
- オートスペースモードとオートレディーモードを併用することはできません。

## 曲の頭で一時停止する(オートキュー)

トラックの始まりではなく、音の立ち上がり位置で一時停止状態にする機能です。音の立ち上がり位置の検出レベルは、以下の方法で設定します。



1. 停止、再生または再生一時停止中に〔EDIT/NO〕ボタンを押して、“AUTO CUE?”を表示させる

2. 〔YES〕ボタンを押す

3. 〔◀◀ TRACK ▶▶〕ダイヤルで適当な値を選ぶ

選択できる検出レベルは、“-54 dB”、“-60 dB”、“-66 dB”、“-72 dB”と“OFF”です。

4. 〔YES〕ボタンを押す

- キューポイントの精度は±1フレーム(SPモード時±64ms)です。
- オートキューがオン(OFF以外)で停止中に、〔◀◀ TRACK ▶▶〕ダイヤルまたはリモコンの〔◀◀ TRACK ▶▶〕ボタンを押すと、音の立ち上がり位置を探して再生一時停止状態になります。
- オートキューがオン(OFF以外)でオートレディーもオンのときは、〔◀◀ TRACK ▶▶〕ダイヤルまたはリモコンの〔◀◀ TRACK ▶▶〕ボタンを押すと、音の立ち上がり位置を探して再生一時停止状態になります。
- オートキューとオートレディーが両方オフのときは、〔◀◀ TRACK ▶▶〕ダイヤルまたはリモコンの〔◀◀ TRACK ▶▶〕ボタンを押しても停止状態のままになります。
- オートキューがオン(OFF以外)のときは、オートスペース機能は使えません。
- オートキューがオンでオートレディーがオンのときに、リモコンのAUTO SPACEボタンを押すと、オートレディーがオフになります。

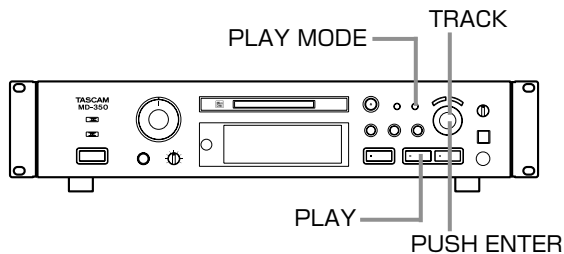
#### ご注意

この機能はSPモードで録音したトラックにのみ使用できます。



## 好きな曲を聞きたい順に聞く (プログラム再生)

25 曲まで聞きたい順にプログラムして再生できます。



### 1. 停止中に “PGM MODE” を表示するまで〔PLAY MODE〕ボタンを押す

- “PGM MODE” を表示後、“0m 00s 00p” を表示します。  
 (“PROGRAM” 点灯)

### 2. [◀◀ TRACK ▶▶] ダイアルを回し、プログラムしたい曲番を選ぶ

- 曲番が点滅します。

### 3. ダイアル (PUSH ENTER) を押す

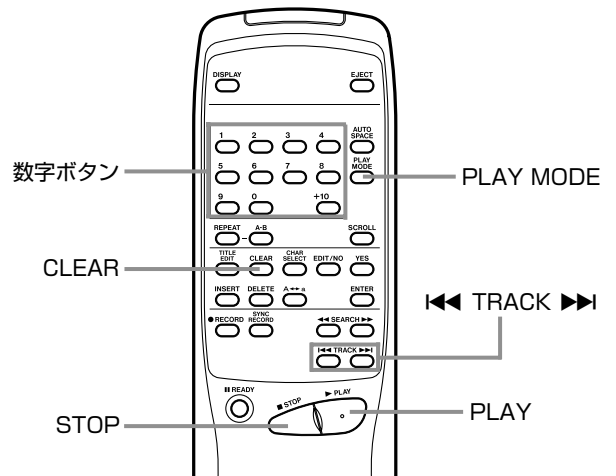
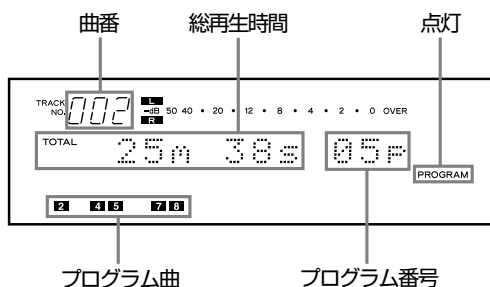
- 同じ操作 (2～3) を繰り返してプログラムします。
- 同じ曲を繰り返してプログラムできます。
- リモコン操作では、曲番を数字ボタンで次々に入力すると、自動的にプログラムします。
- 曲番 21 以上を選ぶと “OVER” が点滅します。

選曲番号は TRACK No. の表示で確認します。

- 曲番を間違ったときは、リモコンの〔CLEAR〕ボタンを押します。ボタンを押すたびに、最後にプログラムした曲から順に消すことができます。

### 4. [▶] PLAY ボタンを押す

- プログラム順に再生します。
- プログラム曲の総再生時間が 159 分 59 秒以上になると、“---m ---s” を表示します。



- 25 曲までプログラムすると、“PGM Full !!” が表示されます。26 曲以上はプログラムできません。
- プログラム再生が終了して停止したとき、または [■] STOP ボタンを押して停止したときは、プログラムデータは保持されています。
- 電源を切ってもプログラムモードは解除しません。プログラムデータは保持されています。
- 停止中に、[■] STOP ボタンを押すと、プログラムデータは消滅します。
- 停止中に〔PLAY MODE〕ボタンを押すと、プログラムモードを解除し、プログラムデータは消滅します。
- プログラムデータがないときに、プログラム再生にすると “PGM Empty !!” を表示後、通常の再生をします。

### ■ プログラム内容を確認する

再生中または再生一時停止中に、[◀◀ TRACK ▶▶] ダイアルを回す、またはリモコンの [◀◀ TRACK ▶▶] ボタンを押して確認します。

### ■ プログラム曲の削除

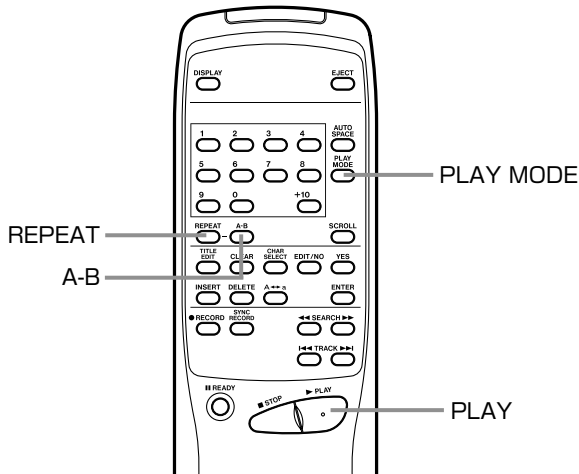
停止中に〔CLEAR〕ボタンを押します。押すたびに、最後にプログラムした曲から順に消すことができます。

### ■ プログラム曲の追加

停止中に [◀◀ TRACK ▶▶] ダイアルを回して曲番を選び、ダイヤル (PUSH ENTER) を押すと追加できます。または、リモコンの数字ボタンで追加したい曲番を押します。プログラムの最後に追加されます。

## 繰り返して聞く (リピート再生)

ディスクの全曲、1曲または聞きたい部分 (A - B) を繰り返して聞くことができます。プログラムリピート、シャッフルリピートもできます。



### ■全曲を繰り返し再生する (全曲リピート)

#### 1. 停止中、〔PLAY MODE〕ボタンでモードを選ぶ

- 曲番順のリピート: “CONTINUE” を選ぶ  
シャッフルリピート: “SHUFFLE MODE” を選ぶ  
プログラムリピート: “PGM MODE” を選ぶ

#### 2. 〔REPEAT〕ボタンを押し、“REPEAT ALL” を表示させる (“ALL REPEAT” 点灯)

#### 3. 〔▶〕PLAY ボタンを押す

- 指定のプレイモードで繰り返し再生します。
- リピートを解除して再生を続けるには、〔REPEAT〕ボタンを何度か押し “REPEAT OFF” にします。
- 電源を切ってもリピートモードは解除しません。

### ■1曲を繰り返し再生する (1曲リピート)

#### 1. “CONTINUE” モードを選ぶ

#### 2. 〔REPEAT〕ボタンを何度か押し、“REPEAT 1” を表示させる (“REPEAT” 点灯 / “SINGLE” 点灯)

#### 3. 〔▶〕PLAY ボタンを押す

- 1曲を繰り返し再生します。
- 〔◀◀ TRACK ▶▶〕ダイヤルを回す、またはリモコンの数字ボタンまたは 〔◀◀ TRACK ▶▶〕ボタンで曲を変更できます。
- “SHUFFLE MODE” または “PGM MODE” のときは、1曲リピートはできません。

### ■曲の一部を繰り返す (A - B リピート)

聞きたい部分 (A - B) を指定して、繰り返し聞くことができます。

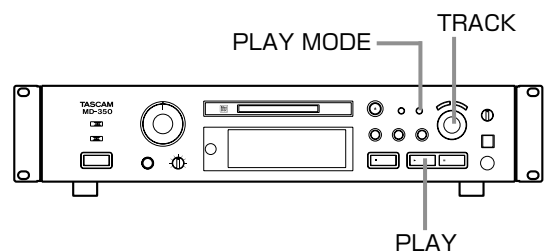
#### 1. 再生中、繰り返して聞きたいところで〔A - B〕ボタンを押す (“REPEAT A -” を表示)、“REPEAT” 点灯 / “A - B” 点滅

#### 2. 繰り返しを終わるところで、もう一度〔A - B〕ボタンを押す (“REPEAT A - B” を表示)、“REPEAT” 点灯 / “A - B” 点灯

- 指定した部分 (A - B) を繰り返し再生します。
- “SHUFFLE MODE”、“PGM MODE” では、曲番と曲番をまたぐ A - B リピートはできません。
- A - B リピートを解除して再生を続けるには、もう一度〔A - B〕ボタンまたは〔REPEAT〕ボタンを押します。“REPEAT OFF” を表示
- 〔■〕STOP ボタンを押すと、指定した部分 (A - B) は消滅します。

## 順不同で聞く (シャッフル再生)

ディスクの全曲を曲順に関係なく、無作為 (ランダム) に選曲して、ひと通り再生します。



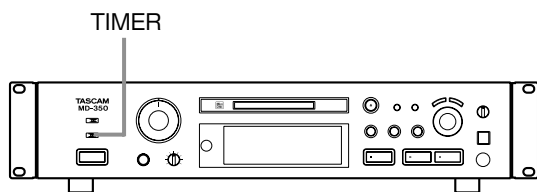
#### 1. 停止中に “SHUFFLE MODE” を表示するまで 〔PLAY MODE〕ボタンを押す (“SHUFFLE” 点灯)

#### 2. 〔▶〕PLAY ボタンを押す

- シャッフル再生中に 〔◀◀ TRACK ▶▶〕ダイヤルを 〔◀◀〕左に回す、またはリモコンの 〔◀◀〕ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻って再生します。
- シャッフル再生中に 〔◀◀ TRACK ▶▶〕ダイヤルを 〔▶▶〕右に回す、またはリモコンの 〔▶▶〕ボタンを押すと、次の曲を選曲して再生します。
- 電源を切ってもシャッフルモードは解除しません。シャッフルモードを解除するには、〔PLAY MODE〕ボタンを何度か押し “CONTINUE” モードにします。

## タイマー再生をする

市販のタイマーに接続すると、希望の時刻に再生することができます。



### 1. 再生するMDを入れる

- 本機が再生できるモードにアンプを切り替えます。
- “SHUFFLE MODE” または “PGM MODE”、“ALL REPEAT”、“REPEAT SINGLE” モードでもタイマー再生ができます。

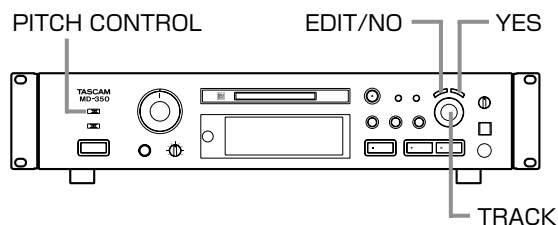
### 2. [TIMER] スイッチを [PLAY] にする

### 3. タイマーを希望の時刻に ON/OFF するように合わせる

- 各機器の電源が OFF になります。
- 希望の時刻になると、各機器の電源が ON になり再生を始めます。
- タイマー再生後はスイッチを [OFF] にしてください。

## 曲のピッチを変える（ピッチコントロール）

通常再生ピッチの±12%の範囲でピッチ（音程）を変えて再生することができます。



### 1. 停止、再生または再生一時停止中に [EDIT/NO] ボタンを押して、“Pitch ?” を表示させる

### 2. [YES] ボタンを押す

### 3. [◀ TRACK ▶] ダイアルで適当な値を選ぶ

0.1%単位でピッチを変更できます。

### 4. [YES] ボタンを押す

- ここで設定したピッチコントロール値は、PITCH CONTROL スイッチが ON のとき有効になります。
- PITCH CONTROL スイッチを切り替えると、再生音が一瞬途切れます。

### ご注意

LP2 モードではピッチコントロール機能は使用できません。

## 編集するときのご注意

録音した曲を消したり、移動したり、分割したり、2つの曲をつなぐなどの編集ができます。また、ディスク名や曲名を付けたりすることができます。

### ■“Protected !!” を表示したときは

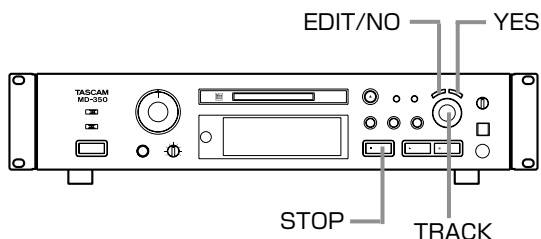
MDが誤消去防止状態です。誤消去防止用タブをずらして孔を閉じると、録音や編集が可能になります。

### ■“UTOOC Writing” が点滅中は

“UTOOC Writing” が点滅中は、録音した内容をMDに記録中です。電源プラグを電源コンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。正しく記録できないことがあります。

## 曲を消す (ERASE 機能)

MDの記録内容を消去するには、「すべての曲を消す」、「1曲ずつ消す」、「1曲の一部分だけを消す」の3通りの方法があります。



### ■全曲を消す (DISC ERASE)

MDの全記録を一度に消すことができます。

1. 停止中に“ERASE DISC ?” を表示するまで [EDIT/NO] ボタンを数回押す

2. [YES] ボタンを押す (“Sure ?” を表示)

- “Sure ?” を表示中に、[EDIT/NO] ボタンまたは [STOP] ボタンを押すと、途中で中止できます。

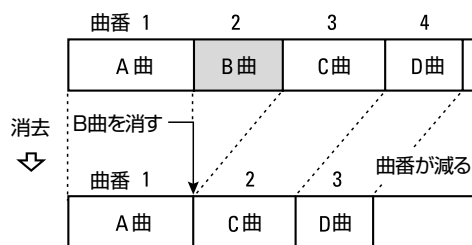
3. もう一度、[YES] ボタンを押す

- “COMPLETE” を表示した後、“Blank Disc” を表示し、MDのすべての記録が消えます。
- “Blank Disc” を表示中に、[EDIT/NO] ボタンで“ERASE DISC ?” を表示し、[YES] ボタンを押すと、UNDO (最後に行った編集動作を取り消す) できません。

### ■1曲ずつ消す (TRACK ERASE)

消したい曲を1曲ずつ消すことができます。

(例) : 曲番2のB曲を消すとき



1. 消したい曲番を [◀ TRACK ▶] ダイアルで選ぶ
2. “ERASE TRK ?” を表示するまで [EDIT/NO] ボタンを数回押す

3. [YES] ボタンを押す (“Track OK ?” を表示)

- “Track OK ?” を表示中に、[EDIT/NO] ボタンまたは [STOP] ボタンを押すと、途中で中止できます。

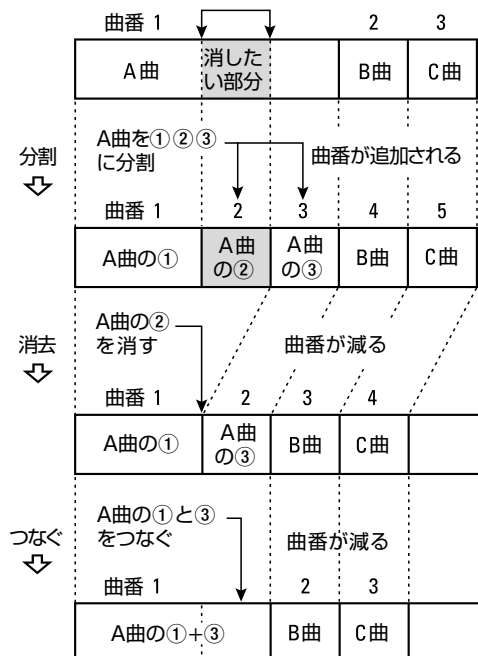
4. もう一度、[YES] ボタンを押す

- “COMPLETE” を表示して指定の曲が消えます。次曲以降の曲番が1つずつ繰り上がります。
- 続けて曲を消すときは、手順1～4を繰り返します。

### ■1曲の中の一部分だけ消す

まず、曲を分割する。次に、分割した1つを消す。最後に、曲をつなぐ。3つの機能を使って、1曲の中の一部分だけ消すことができます。

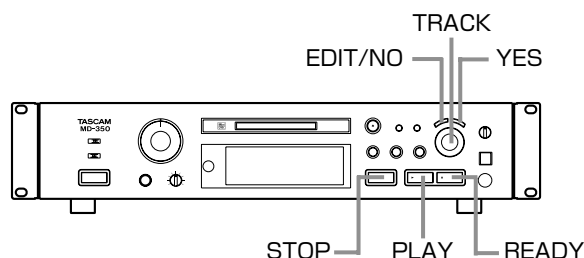
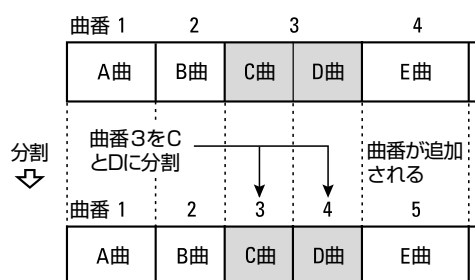
(例) : 曲番1のA曲の一部を消すとき



## 曲を分割する (DIVIDE 機能)

録音後に1曲を2つの曲に分け、新たに頭出しのための曲番を付けます。アナログ録音したMDなどで、1つの曲番に複数の曲が録音されているときや、曲の途中で頭出し点をつくるとき使用します。分割後の曲から曲番が1増え、新しい連続した曲番が付きます。

(例) : 3曲目のC曲とD曲を2つに分割するとき



1. 再生中に、分割する位置で [II] ボタンを押す

2. “DIVIDE ?” を表示するまで [EDIT/NO] ボタンを数回押す

3. [YES] ボタンを押す

● “Rehearsal” と “Point OK ?” を交互に表示し、分割して後のトラックとなる曲の出だしを4秒間、繰り返し再生します。

4. 分割する位置を [I<<< TRACK >>>] ダイアルで合わせる

● 分割する位置が正しくないときは、[I<<< TRACK >>>] ダイアルを回して、分割ポイントを少しずつ移動します。

● “Offset” - 128 ~ + 127 (±1は約0.06秒) の範囲で移動できます。

● 中止するときは、[■] STOP または [EDIT/NO] ボタンを押します。

5. 位置が正しいときは、再度 [YES] ボタンを押す

● “COMPLETE” を表示し、曲を分割します。分割した後の曲の頭で再生一時停止状態になります。

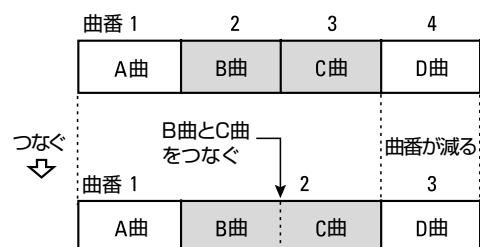
● 分割する曲に曲名が付いていても、分割した後の曲には曲名が付きません。曲番は増えます。

● 曲の出だしでは分割できません。

## 曲をつなぐ (COMBINE 機能)

連続する2つの曲をつなぎ合わせて1曲にまとめます。いくつかの曲を連続で聞けるようにしたり、録音と停止を繰り返して、コマ切れて録音したものを1つにまとめるときに使用します。

(例) : B曲とC曲をつなぐとき



1. つなぎたい曲の曲番を [I<<< TRACK >>>] ダイアルで選ぶ

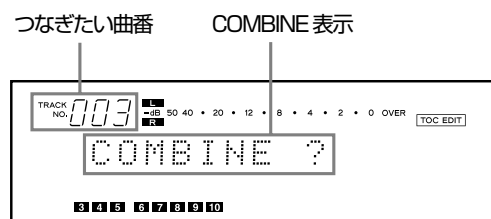
● 選択した曲番と1つ前の曲をつなぎます。

例えば、曲番2と曲番3をつなぎときは、曲番3を選択します。

● 曲番1を選択したときは、つなぐことができません。

● 異なるモード (SP / MON / LP2 / LP4) で録音したトラックは、つなぐことができません。

2. “COMBINE ?” を表示するまで [EDIT/NO] ボタンを押す



3. [YES] ボタンを押す

● “Rehearsal” が表示され、つなぎ目部分が繰り返し再生されます。

● つなぎ目の部分を正しく再生していないときは、[EDIT/NO] ボタンを押し、最初からやり直してください。

● 中止するときは、[■] STOP ボタンまたは [EDIT/NO] ボタンを押します。

4. つなぎ目の部分が正しいときは、再度 [YES] ボタンを押す

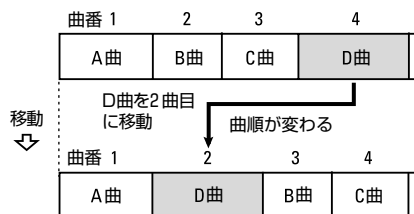
● “COMPLETE” を表示して曲がつながります。

両方の曲に曲名が付いているときは、前の曲の曲名が付きます。曲番が1曲分減ります。

## 曲を移動する (MOVE 機能)

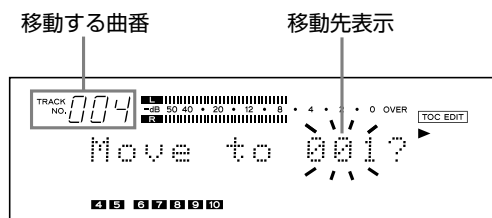
ある曲を好きな位置に移動して、曲順を変更できます。  
移動後の曲番は、自動的に新しい連続した曲番が付きます。

(例) : 曲番 4 の D 曲を曲番 2 に移動するとき



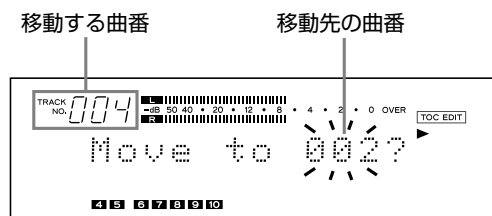
1. 再生中または再生一時停止中に、移動したい曲の曲番を [◀◀ TRACK ▶▶] ダイアルで選ぶ
2. “MOVE ?” を表示するまで [EDIT/NO] ボタンを押す
3. [YES] ボタンを押す

- “Move to 001 ?” が表示されます。(“001” 点滅)



4. 移動先の曲番を [◀◀ TRACK ▶▶] ダイアルで選ぶ

- “Move to 002 ?” が表示されます。(“002” 点滅)
- このとき、移動先の曲番を数字ボタンで指定すると、“COMPLETE” を表示後、曲番が自動的に変更され、移動します。移動先の曲番から再生を続けます。
- 中止するには、[■] STOP または [EDIT/NO] ボタンを押します。

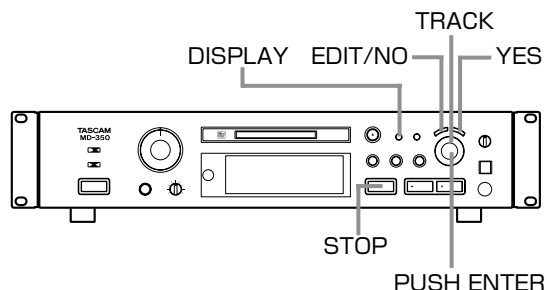


5. 再度 [YES] ボタンを押す

- “COMPLETE” を表示後、曲番が自動的に変更され、移動します。移動先から、順に再生を続けます。

## ディスク名、曲名を付ける (TITLE 機能)

カタカナ、アルファベットの大きい文字や小さい文字、数字、記号などを使って、ディスク名や曲名を付けることができます。



1. “TITLE ?” を表示するまで [EDIT/NO] ボタンを押す
2. [YES] ボタンを押す

- リモコンでは [TITLE EDIT] ボタンを押します。

3. [◀◀ TRACK ▶▶] ダイアルで DSC、曲番または AINC を選ぶ

ディスク名を付けるときは：

☞ “TITLE > DSC” に合わせる (“DSC” 点滅)

曲名を付けるときは：

☞ “TITLE > XXX” (曲番) に合わせる (“曲番” 点滅)

ディスク名と全曲番の曲名を続けて付けるときは：

☞ “TITLE > AINC” に合わせる (“AINC” 点滅)

4. [YES] ボタンを押す

- “DSC > \_”、“AINC > \_” または “XXX > \_” を表示します。

- 文字入力モードになり、カーソルが点滅します。

5. [DISPLAY] ボタンで文字種を選ぶ

選択できる文字種

- “カタカナ” 点灯時：カタカナ
- “CAPS” 点灯時：アルファベット大文字、数字、記号
- “無灯時”：アルファベット小文字、数字、記号

6. [◀◀ TRACK ▶▶] ダイアルで文字を入力し、ダイヤル [PUSH ENTER] を押す

7. 手順 5 ~ 6 を繰り返す

- 中止するには、[■] STOP を押します。  
タイトルモードを解除して、そのまま再生を続けるには、[EDIT/NO] ボタンを 3 秒以上押し続けます。  
またはリモコンの [TITLE EDIT] ボタンを押します。

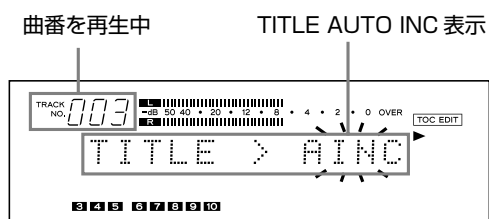
8. 再度、[YES] ボタンを押す

- ディスク名または曲名を再表示します。
- 他の曲番にも曲名を付けるときは、手順 1 ~ 8 を繰り返します。

## ディスク名と全曲番の曲名を続けて付ける (TITLE AUTO INC 機能)

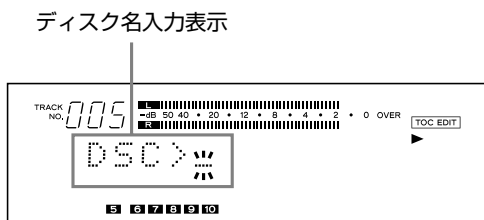
〔CONTINUE〕モードのとき、ディスク名と全曲番の曲名を続けて付けることができます。

1. “TITLE ?” を表示するまで〔EDIT/NO〕ボタンを押す
  2. 〔YES〕ボタンを押す
- リモコンでは〔TITLE EDIT〕ボタンを押します。
3. 〔◀ TRACK ▶〕ダイヤルで“TITLE > AINC”に合わせる (“AINC”点滅)



### 4. 〔YES〕ボタンを押す

- “DSC > \_” を表示し、ディスク名の入力モードになり、カーソルが点滅します。
- すでにタイトルがあるときも、初めの文字でカーソルが点滅します。



### 5. 〔DISPLAY〕ボタンで文字種を選ぶ

### 6. 〔◀ TRACK ▶〕ダイヤルで文字を入力し、ダイヤル〔PUSH ENTER〕を押す

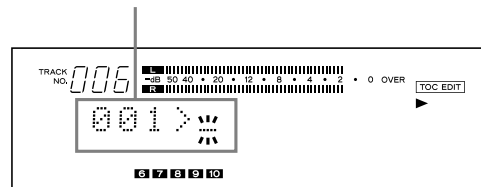
### 7. 手順 5～6 を繰り返す

- リモコンでは、〔◀ TRACK ▶〕ボタンで文字を選択後、〔ENTER〕ボタンを押すと入力します。

### 8. ディスク名を付け終わったら〔YES〕ボタンを押す

- 自動的に“001 > \_”を表示し、曲番 1 の曲名入力モードになり、カーソルが点滅します。

### ディスク名入力表示



### 9. 手順 5～6 を繰り返して曲名を付ける

### 10. 曲名を付け終わったら〔YES〕ボタンを押す

- 自動的に“002 > \_”を表示し、曲番 2 の曲名入力モードになります。手順 5～8 を繰り返します。
- 同様の操作をして、全曲番の曲名を付け終わると、停止中の場合はディスク名を再表示し、再生中の場合は曲名を再表示します。
- 〔◀ TRACK ▶〕ダイヤルを回すと、タイトルの確認ができます。
- 中止するには、〔■〕STOP を押します。  
タイトルモードを解除して、そのまま再生を続けるには、〔EDIT/NO〕ボタンを 3 秒以上押し続けます。  
またはリモコンの〔TITLE EDIT〕ボタンを押します。

### ご注意

- “SHUFFLE MODE” または “PGM MODE” ではできません。
- TITLE 機能、TITLE AUTO INC 機能のとき、曲名は 1 曲あたり 100 文字まで書き込めます。
- 全曲名の文字数の合計が 1700 文字を超えると、書き込みできません。
- TITLE AUTO INC 編集の途中で中止したときは、中止時の曲番には曲名が付きません。中止する前の曲番まで、曲名が付きます。
- TITLE AUTO INC 編集した後に UNDO を行うと、最後に行った曲名編集が取り消されます。
- 録音中でもディスク名や曲名を付けられます。
- Over Write の一時停止中に曲名を付けた場合、録音を開始すると曲名は消去されます。
- ディスク名のときに “DISC” が点灯、曲名のときに “TRACK” が点灯します。

## 選択できる文字種、記号

☞ “カタカナ” 点灯時：カタカナ文字を選択します。

アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌノハヒ  
フヘホマミムメモヤユヨラリルレロワン” ° ヲァィゥェォ  
ャユョツ , - . / スペース

☞ “CAPS” 点灯時：アルファベット大文字、数字、記号を選択します。

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : ; < = > ? @ ! " # \$ % & ' ( )  
\* + , - . / \_ ` スペース

☞ “無灯時”：アルファベット小文字、数字、記号を選択します。

a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : ; < = > ? @ ! " # \$ % & ' ( )  
\* + , - . / \_ ` スペース

## 文字を修正するには

文字を修正するときは、入力モードで修正したい文字にカーソルを移動します。

- 文字選択をして入力します。カーソル上の文字が変更されます。

### ■ カーソルを移動するには

本体操作 → ◀◀ SEARCH ▶▶ ボタンを押す  
リモコン操作 → ◀◀ SEARCH ▶▶ ボタンを押す

### ■ カーソル位置の文字を選ぶには

本体操作 → ◀◀ TRACK ▶▶ ダイアルを回す  
リモコン操作 → ◀◀ TRACK ▶▶ ボタンを押す

### ■ カーソル位置の文字種を変更するには

本体操作 → DISPLAY ボタンを押す  
リモコン操作 → DISPLAY または CHAR SELECT ボタンを押す

### ■ カーソル位置の文字を大文字または小文字に変えるには

本体操作 → DISPLAY ボタンを押す  
リモコン操作 → A ↔ a ボタンを押す

### ■ カーソル位置にスペース（空白）を入れるには

本体操作 → ダイアル（ENTER）を3秒以上押す  
リモコン操作 → INSERT ボタンを押す、または ENTER を3秒以上押す

### ■ 数字を入力するには

本体操作 → ◀◀ TRACK ▶▶ ダイアルを回す  
リモコン操作 → 数字ボタンを押す

### ■ カーソル位置の文字を削除するには

本体操作 → EDIT/NO ボタンを押す  
リモコン操作 → DELETE ボタン、または EDIT/NO ボタンを押す

### ■ 文字決定し、カーソルを右に移動するには

本体操作 → ダイアル（ENTER）を押す  
リモコン操作 → ENTER ボタンを押す

### ■ すべての文字を一度に削除するには

本体操作 → できません  
リモコン操作 → CLEAR ボタンを押す



## タイトルをコピーする (TITLE COPY 機能)

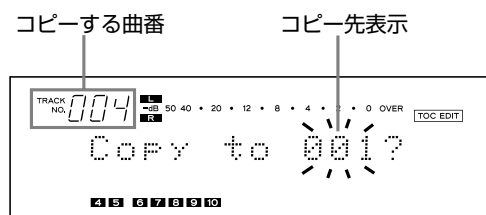
1. 停止中に、[◀ TRACK ▶] ダイアルでコピー元のディスク名または曲名 (曲番) を表示させる

- 例：曲番 004 をコピー元を選びます。

2. “TITLE COPY ?” を表示するまで [EDIT/NO] ボタンを押す

3. [YES] ボタンを押す

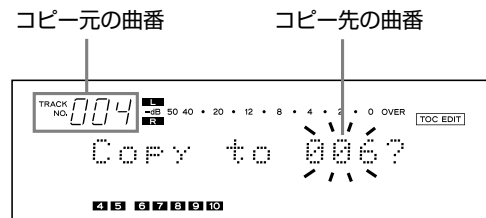
- “Copy to 001 ?” が表示されます。(“001” 点滅)



例：曲番 4 の曲名をコピーします

4. [◀ TRACK ▶] ダイアルでコピー先の曲番選ぶ

- “Copy to 006 ?” が表示されます。(“006” 点滅)



例：曲番 4 の曲名を曲番 6 へコピーします

- コピー編集の途中で [▶] PLAY ボタンまたは [||] READY ボタンを押すと、タイトルコピーモードは解除されます。

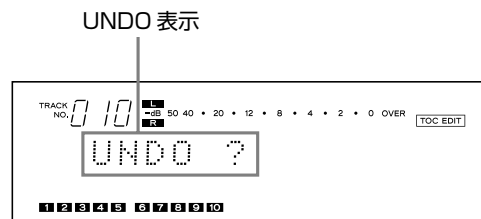
- 中止するには、[■] STOP または [EDIT/NO] ボタンを押します。

5. [YES] ボタンを押す

- 曲番 006 へのコピーが完了します。

## 最後に行った編集動作を取消す (UNDO 機能)

1. 停止中に、“UNDO ?” を表示するまで [EDIT/NO] ボタンを押す



2. [YES] ボタンを押す

- “Undo OK ?” が表示されます。

- 途中で [▶] PLAY ボタンまたは [||] READY ボタンを押すと、UNDO モードは解除されます。

- 中止するには、[■] STOP または [EDIT/NO] ボタンを押します。

3. [YES] ボタンを押す

- “COMPLETE” を表示して最後に行った動作を取り消します。

### ご注意

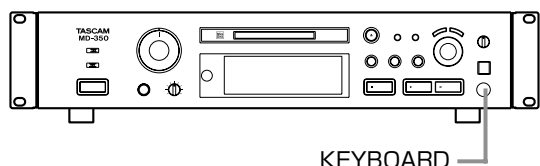
次の場合は [EDIT/NO] ボタンを押しても “UNDO ?” 表示になりません。(UNDO できません)

- UNDO したものを UNDO する。または UNDO するものがない場合。
- 編集後に [YES] ボタンを押して、編集モードが解除した場合。
- 録音したり、録音一時停止状態にした場合。
- ブランクのディスクを DISC ERASE した場合。
- 途中で電源を切った場合。

# オプション機能

市販の日本語対応 DOS/V 用キーボード（PS/2）を本機の KEYBOARD 端子に接続すると、選曲や編集、タイトル入力などをキーボードで行うことができます。

- 付属のテンプレートをキーボードのファンクションキーに貼ってお使いください。
- カタカナキーを押して、カタカナ表示を点滅にすると、ローマ字入力ができ、カタカナに変換できます。  
カタカナを点灯にすると、カタカナ入力になります。



## ■ 操作ボタンに対応するキー

本体・リモコンのボタン	対応するキー
⏮	F1 キー
⏭	F2 キー
STOP ボタン	F4 キー
PLAY ボタン	F5 キー
READY ボタン	F6 キー
RECORD ボタン	F8 キー
AUTO SPACE ボタン	F9 キー
REPEAT ボタン	F10 キー
PLAY MODE ボタン	F11 キー
DISPLAY ボタン	F12 キー
YES ボタン	Enter キー
+10 ボタン	+ キー
数字ボタン	テンキー
CLEAR ボタン	Shift キー + F10 キー
EJECT ボタン	Shift キー + F12 キー
⏪	← キー
⏩	→ キー

## ■ 編集する

機能	操作するキー
ERASE TRACK	Shift キー + F 1 キー
ERASE DISC	Shift キー + F 2 キー
MOVE	Shift キー + F 4 キー
DIVIDE	Shift キー + F 5 キー
COMBINE	Shift キー + F 6 キー
TITLE COPY	Shift キー + F 7 キー
TITLE	Shift キー + F 8 キー
UNDO	Shift キー + F 9 キー
モードの解除	Esc キー

## ■ タイトルを入力する

動作	操作するキー
タイトル編集する曲番を変更する	↑ キー, ↓ キー
カーソルを移動する	← キー, → キー
アルファベットの大文字と小文字を切り換える	Caps キー
カタカナを入力する	カタカナキー
カーソル位置の前の文字を消す	BS (Back Space) キー
カーソル位置の文字を消す	DEL (Delete) キー
カーソル位置に空白を挿入する	INS (Insert) キー
タイトル入力を止める	Esc キー

- ↑ キー、↓ キーでタイトル編集する曲番を変更したときは、今まで入力したタイトルに決定されます。
- Caps とカタカナを併用することはできません。
- キーボードを操作するときは、本機の電源スイッチをすばやく ON/OFF しないでください。キーボードの操作ができなくなることがあります。

# システム上の制約について

MD（ミニディスク）は、従来のカセットやDATと録音の方式が異なるため、いくつかのシステム上の制約があります。その制約により、次のような症状が出る場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

## ● 録音可能時間内であっても“Track Full”が表示される。

録音可能時間に関係なく、曲番がいっぱいになると“Track Full”が表示されます。MDシステムでは、254曲以上の録音はできません。さらに曲を追加録音するには、不要な曲を消すか、別のMDに分けて録音してください。

## ● 曲数も録音時間も余裕あるが“Track Full”が表示される。

曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく“Track Full”が表示されます。

## ● 何曲も消したがMDの残り時間が増えない。

MDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視するので、短い曲を何曲消しても時間が加算されないことがあります。

## ● 録音経過時間と残量時間の合計が、MDの録音可能時間（最大60分、74分）と一致しない場合がある。

通常、6クラスタ（約12秒）が最小単位で録音されます。それに満たないものでも、12秒分のスペースを使うため、実際の使用可能な時間は少なくなります。また、MDに傷があると、傷の部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

## ● つなぐことができない場合がある。

- ・編集してできた曲は、つなげない場合があります。
- ・異なるモード（SP/MON/LP2/LP4）で録音したトラックは、つなぐことができません。

## ● サーチを行うと音が途切れることがある。

編集してできた曲は、サーチすると音が途切れる場合があります。

## ● 曲番が正確に付かないことがある。

デジタル接続でCDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。また、オートトラックマーキングを行った場合、録音するものの内容によって、曲番が正確につかない場合があります。

## ● “TOC Reading”表示がなかなか消えない。

購入したばかりの録音用MDをセットすると、通常より“TOC Reading”表示が長くなります。

## ● 録音済みの部分を消しながら録音すると

- ・MDの残り時間を正確に表示しないことがあります。
- ・何回も繰り返すと、消しながら録音できなくなることがあります。このようなときは、（曲を消すなどの）編集をしてから録音してください。
- ・録音経過時間に対し、録音後の残り時間が、録音前の残り時間よりもかなり減ってしまうことがあります。
- ・曲の中の一部にノイズなどがあるとき、その部分を消しながら録音しようとする、（録音は6クラスタ約12秒単位で行いますので）曲の一部が消去される恐れがありお勧めできません。

## ● “ERASE DISC”をしても最大録音可能時間にならない場合がある。

- ・再度、“ERASE DISC”を行ってください。この場合、UNDOはできません。

## ● LP4モード（4倍長時間録音）は特殊な圧縮方式によって長時間ステレオ録音を実現しています。そのため、録音されるソースによってはごくまれに瞬間的なノイズが発生する恐れがあります。音質を重視される場合はSP（ステレオ録音）またはLP2モード（2倍長時間録音）を推奨いたします。

操作の状況により、各種メッセージが表示されます。主なメッセージは以下のとおりです。

メッセージ	意味
Blank Disc	MDに何も記録されていません。
Cannot Copy !	コピー禁止です。
Cannot EDIT !	編集できません。
COMPLETE	完了しました。
Disc Error !	MDデータに異常があります。
Disc Full !!	空きがなく録音できません。
D-IN UNLOCK !	デジタル接続をしていません。
ERASE DISC ?	MDの録音内容を消しますか？
ERASE TRK ?	この曲番を消しますか？
NO DISC !!	MDが入っていません。
NO Track !!	曲がありません。
Name Full !!	タイトルがいっぱいです。
PGM Empty !!	プログラムされていません。
PGM Full !!	これ以上プログラムできません。
Play Mode !!	プレイモードが違います。
Protected !!	再生専用MDが入っています。 MDが誤録音防止状態です。
Rec Error !!	記録エラーが発生しました。
Sure ?	本当に良いのですか？
Track Full !!	曲番がいっぱいです。
UNDO ?	最後の編集動作を取消しますか？
UTOOC Writing	録音内容をMDに記録中です。

本機の調子がおかしいとき、修理を依頼する前にもう一度、動作を点検してください。それでも調子がおかしいときは、お買い上げ店または当社サービス窓口にご連絡ください。

## ノイズが多い。

- テレビのそばに置かないでください。

## 操作を受けつけない。

- MDの汚れ、または損傷している。“Disc Error !”を表示する。  
☞ 別のMDと交換してください。

## 再生できない。

- 何も録音されていない。“Blank Disc”を表示する、または“NO Track !!”を表示する。  
☞ 録音済みMDと交換してください。
- “UTOOC Error !”を表示する。  
☞ 別のMDと交換してください。
- 結露していませんか？  
☞ MDを出して、そのまま数時間放置してください。

## 録音できない。

- “Protected !!”を表示する。  
☞ 録音防止タブをずらして穴を閉じます。または再生専用MDが入っていませんか？
- “D-IN UNLOCK !!”を表示して音が入力しない。  
☞ デジタル接続をする、またはアナログ入力での録音します。
- “Disc Full !!”を表示する。  
☞ 録音残り時間がないので不要な曲を消す、または別のMDを入れてください。
- “Rec Error !!”を表示する。  
☞ 録音をやり直してください。
- タイマー録音されない。  
☞ タイマー録音をした後は3～4日中に電源を入れ、MDを出してください。電源を入れずに時間がたつと、録音内容が消えてしまうことがあります。

- どの処置をしても正常に動作しないときは、一旦電源プラグを抜いて、再度電源に接続してください。

# 仕様

## 定格

形式	ミニディスク
使用ディスク	ミニディスク
チャンネル数	2 (STEREO) / 1 (MONO)
記録方式	Magnetic field modulation overwrite
録音時間	80分 (SP)、160分 (MONO)、 160分 (LP2)、320分 (LP4) (80分ディスク使用時)
サンプリング周波数	44.1kHz
圧縮方式	ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding)
アナログ バランス入力	XLR
規定入力レベル	+4dBu
入力インピーダンス	10k $\Omega$
アナログ アンバランス入力	RCA
規定入力レベル	-10dBV
入力インピーダンス	50k $\Omega$
アナログ バランス出力	XLR
規定出力レベル	+4dBu
出力インピーダンス	150 $\Omega$
アナログ アンバランス出力	RCA
規定出力レベル	-10dBV
出力インピーダンス	600 $\Omega$
PHONES	ステレオホンジャック
最大出力レベル	25mW + 25mW
負荷インピーダンス	32 $\Omega$
デジタル入力 1、2	TOS (EIAJ RC-5720)
フォーマット	IEC60958 TypeII (S/PDIF)
デジタル出力	TOS (EIAJ RC-5720)
フォーマット	IEC60958 TypeII (S/PDIF)
KEYBOARD	Mini DIN 6pin
消費電力	13W
質量	5.5kg
寸法 (W×H×Dmm)	482.6 × 94 × 313

## 性能

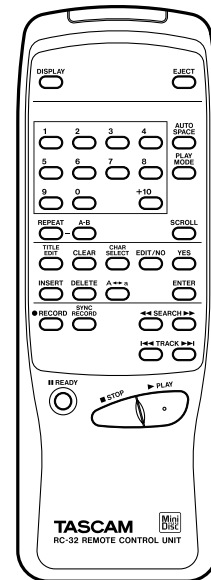
周波数特性	20Hz ~ 20kHz $\pm$ 0.5dB
S/N比 (再生時)	94dB 以上 (A フィルター)
ダイナミックレンジ (再生時)	94dB 以上 (1kHz、A フィルター)
全高調波歪率	0.013%以下

\* EIAJ は日本電子機械工業会規格に定められた測定法によるものです。

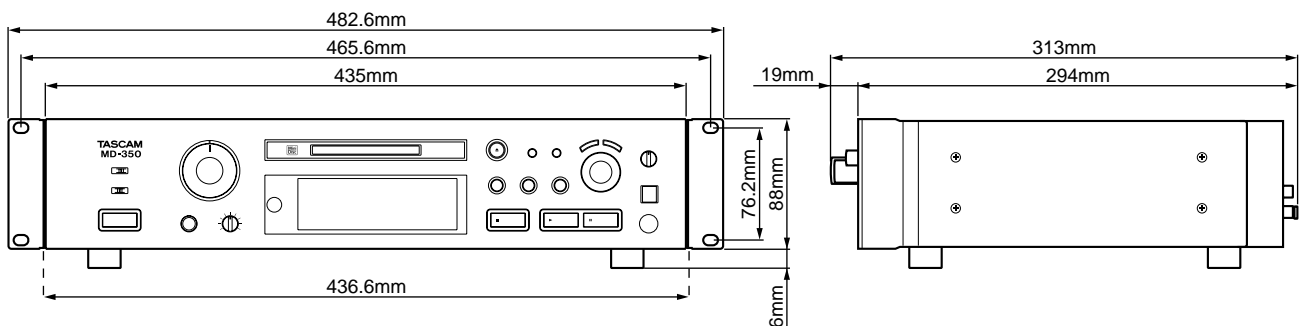
\* 仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

\* 製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが、一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。



ワイヤレス リモコン RC-32



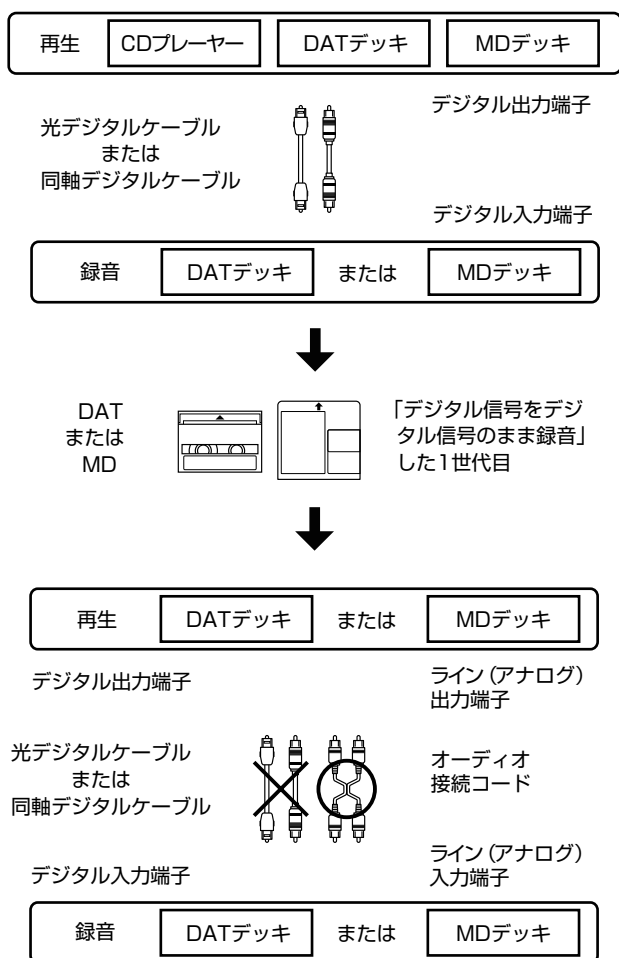
# コピーするときのルール

## ■ シリアルコピーマネージメントシステム

デジタル入力で録音したデジタルテープ (DAT)、またはミニディスク (MD) をさらにデジタル入力で録音できません。本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」すること (コピー) を「1 世代まで」と規制したものです。以下の原則があります。

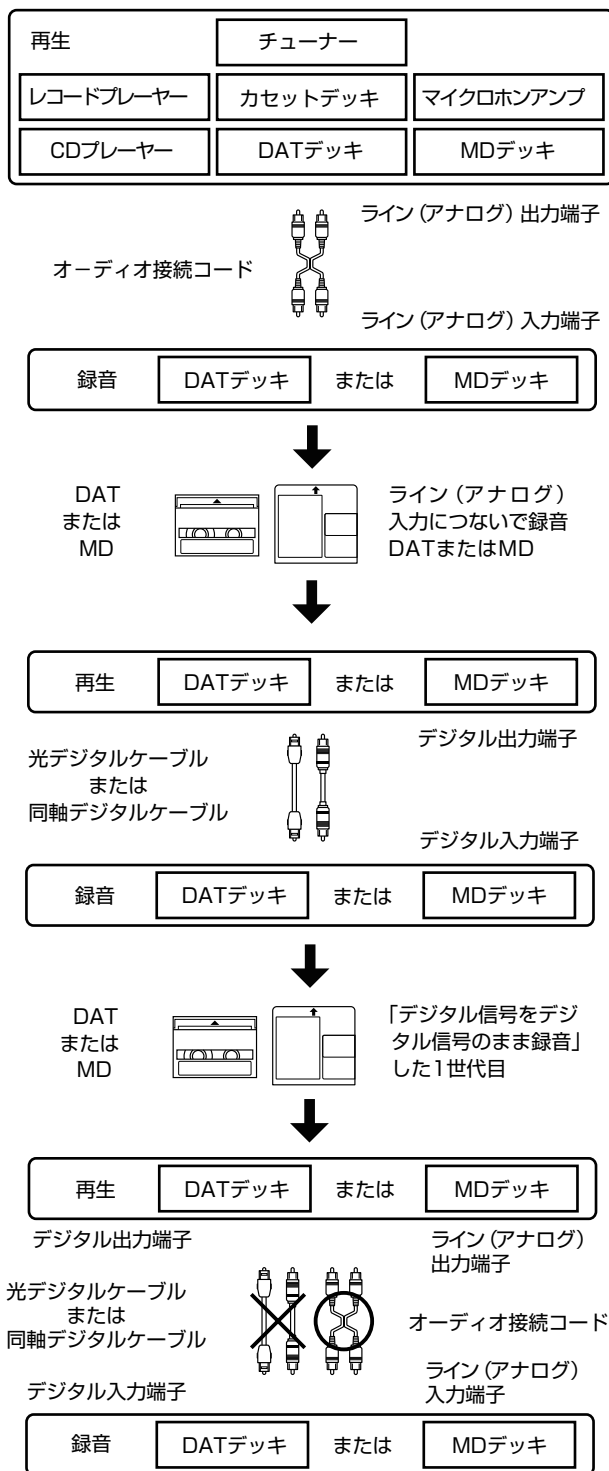
### ● 原則 1

コンパクトディスク (CD)、デジタルオーディオテープ (DAT) またはミニディスク (MD) から、DAT または MD へ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。ただし、1 度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したものをさらに、他の DAT または MD へ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。



### ● 原則 2

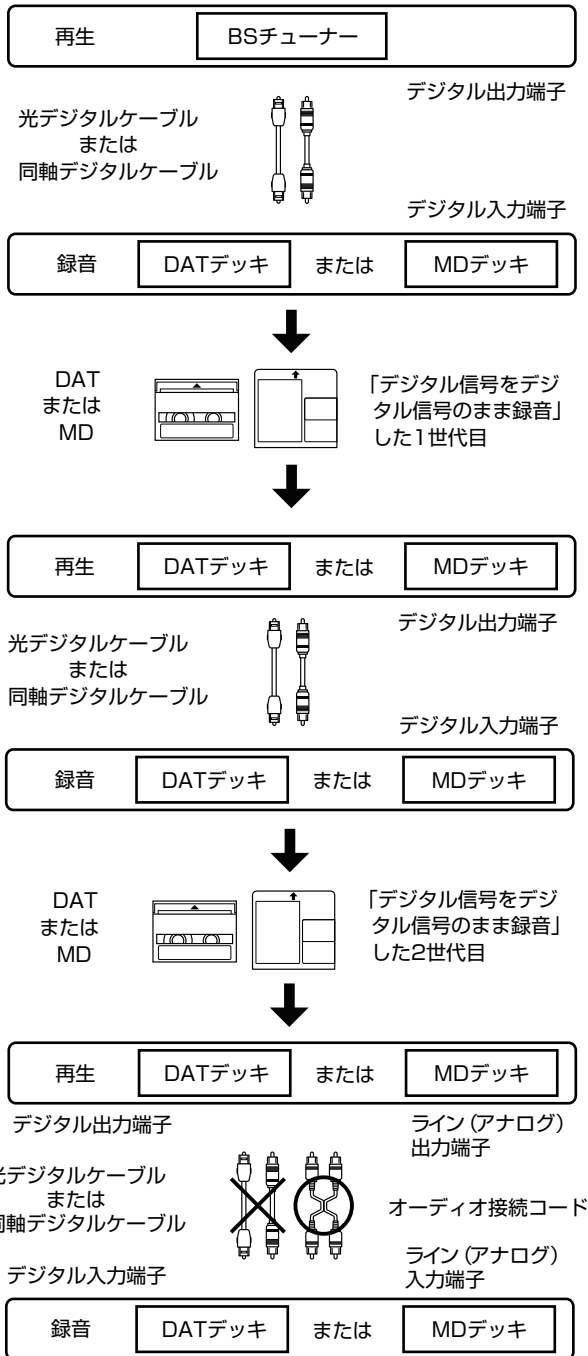
アナログレコードや FM 放送などを録音した DAT または MD から、他の DAT または MD へ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。ただし、1 度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」した DAT または MD から、さらに他の DAT または MD へ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。



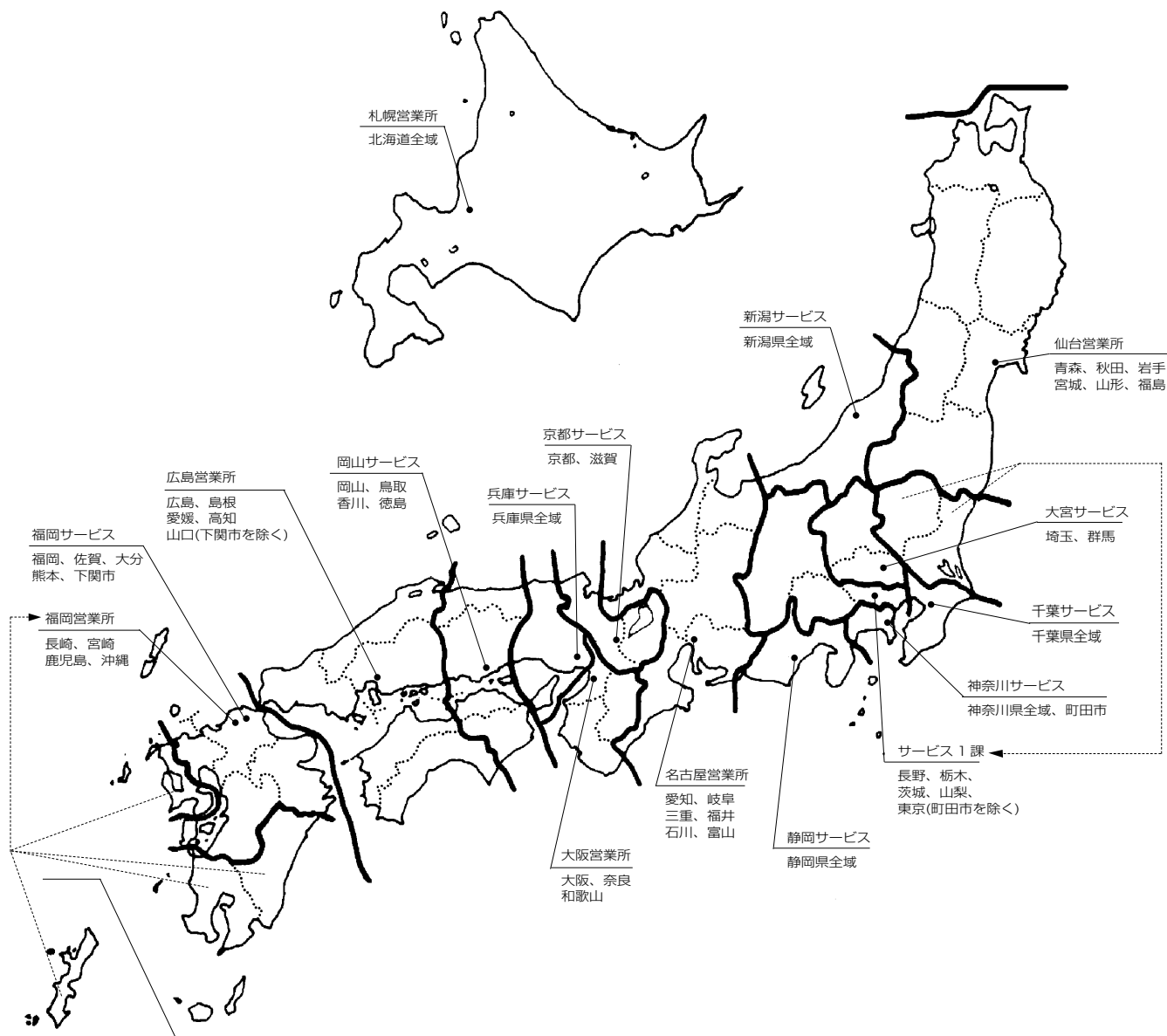
●原則3

DAT デッキまたは 32kHz、48kHz のサンプリング周波数に対応する MD デッキの場合、衛星放送のデジタル音声信号も「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。

この場合は、2 世代目も「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。ただし、BS チューナー（衛星放送受信機）によっては、2 世代目が録音できないことがあります。



- この製品には保証書を別途添付しております。保証書は所定事項を記入してお渡ししておりますので、記載内容をご確認の上、取扱説明書などと一緒に大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より 1 年です。保証期間中は記載内容により当社サービス機関が修理いたします。その他の詳細につきましては保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店または当社営業所などにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認の上ご連絡ください。
  - 型名、型番 (TASCAM MD-350)
  - 製造番号 (Serial No.)
  - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は製造打ち切り後 5 年です。



## ティアック株式会社

タスカム部	☎ (0422)52-5072 / FAX (0422)52-6782	〒 180-8550 東京都武蔵野市中町 3-7-3
技術的なお問い合わせ	タスカム営業技術	☎ (0422)52-5106 / FAX (0422)52-6782
〒 180-8550 東京都武蔵野市中町 3-7-3		
アフター・サービスに関するお問い合わせ	札幌営業所	☎ (011)521-4101(代)  〒 064-0807 札幌市中央区南7条西2-2 くぼたビル
	仙台営業所	☎ (022)218-0007(代)  〒 981-3135 仙台市泉区八乙女3-2-30 リバーサイドビル及川
	新潟サービス	☎ (025)245-0103  〒 950-0865 新潟県新潟市本馬越1-4-11 黒井ハイツ
	大宮サービス	☎ (048)642-4551  〒 331-0052 大宮市三橋2-846
	サービス1課	☎ (0422)52-5107  〒 180-8550 東京都武蔵野市中町 3-7-3
	千葉サービス	☎ (043)255-1281  〒 260-0042 千葉市中央区椿森1-21-13 清水ビル
	神奈川サービス	☎ (042)746-6850  〒 228-0803 相模原市相模大野7-14-9 グリーンシティビル
	静岡サービス	☎ (054)238-2431  〒 422-8034 静岡市高松1-12-1 寿道ハイツ105号
	名古屋営業所	☎ (052)702-3100(代)  〒 465-0025 名古屋市中区上社5-406
	京都サービス	☎ (075)871-8730  〒 616-8224 京都市右京区常盤窪町19 西垣ビル
	大阪営業所	☎ (06)6384-5201(代)  〒 564-0062 吹田市垂水町3-34-10
	兵庫サービス	☎ (0727)55-1002  〒 666-0004 兵庫県川西市萩原1-11-29
	岡山サービス	☎ (086)225-8601  〒 700-0945 岡山市新保1155-1
	広島営業所	☎ (082)294-4751(代)  〒 730-0846 広島市中区西川口町13-19
	福岡営業所	☎ (092)431-5781(代)  〒 812-0008 福岡市博多区東光2-2-24
	福岡サービス	☎ (092)957-2050  〒 811-2107 福岡県糟屋郡宇美町とびたけ3-7-12

■上記営業所にはサービス・センターを併設しています。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日を除く 9:30～12:00/13:00～17:00 です。

■住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。 <http://www.teac.co.jp/tascam/>